別添資料１

久喜市総合振興計画市民意識調査結果報告書（一部抜粋）

調査の概要

１．調査の目的

平成 22 年 3 月 23 日に旧久喜市、旧菖蒲町、旧栗橋町及び旧鷲宮町の 1 市 3 町の合併により、新たに人口約 15 万 7 千人、面積 82.4 平方キロメートルの都市として誕生した。

そこで、新市のまちづくりを行っていくにあたり、新たな久喜市が目指すまちづくりの方向や、それを実現させるための施策・事業などの将来目標や施策の基本方針を定める「久喜市総合振興計画」を策定することとなり、市民の考えや意見反映させるための基礎資料を得ることを目的として実施した。

２．調査の設計

調 査 対 象	基準日において、久喜市の住民基本台帳に記録された 18 歳以上の者から 3,000 人（男女各 1,500 人）
基　準　日	平成 22 年 11 月 1 日
抽 出 方 法	無作為抽出
調 査 方 法	郵送調査法
調 査 時 期	平成 22 年 12 月 8 日～12 月 27 日

３．回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
3,000 件	1,566	52.2%

４．報告書の見方

（1）調査結果の％表記については、小数第 2 位を四捨五入した値であるため、単数回答でも合計が必ずしも 100％になるとは限らない。

（2）複数回答の質問は、回答数を 100％として各選択肢の％を算出しているため、合計は 100％を超えている。

（3）図表中のｎは回答数を示している。

（4）図表中の記号の意味は、以下のとおりである。

全体値より	☆：＋15％以上高い	★：－15％以上低い
	○：＋10～15％高い	●：－10～15％低い
	△：＋５～10％高い	▼：－５～10％低い

５．標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の＜算出式＞と＜早見表＞を次に示す。

統計学上の標本誤差は、①比率算出の基数（サンプル数）及び②回答の比率（ｐ）によって誤差幅が異なる。今回調査の誤差幅は±2.53%以内となる。

＜標本誤差算出式＞

$$\text{標本誤差} = \pm 2\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

Ｎ＝母集団数
ｎ＝比率算出の基数（回答サンプル数）
ｐ＝回答の比率（0≦p≦1）

＜誤差早見表＞

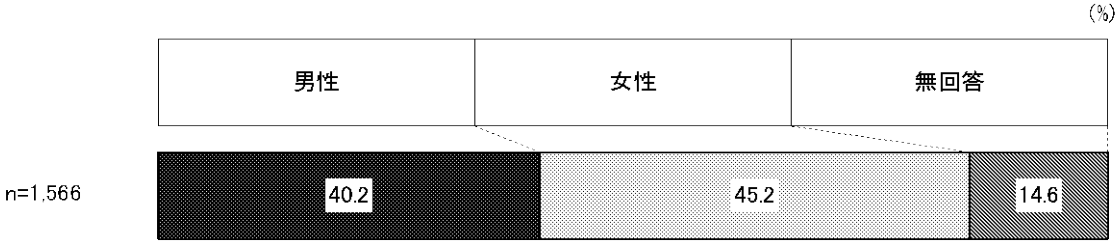
回答比率(p) 標本数(n)	5%または95%程度	10%または90%程度	20%または80%程度	30%または70%程度	40%または60%程度	50%程度
100	±4.36%	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%
200	±3.08%	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
500	±1.95%	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
1,000	±1.38%	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
1,566	±1.10%	±1.52%	±2.02%	±2.32%	2.48±%	±2.53%
5,000	±0.62%	±0.85%	±1.13%	±1.30%	±1.39%	±1.41%
10,000	±0.44%	±0.60%	±0.80%	±0.92%	±0.98%	±1.00%

※上表は$\frac{N-n}{N-1}$ ≒1 として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は 95%である。

回答者属性について

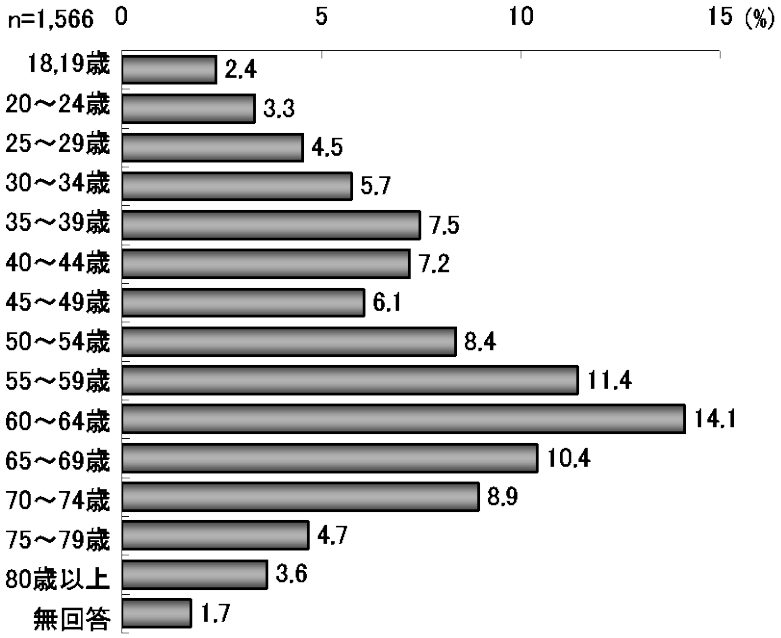
1．性別

回答者は、「男性」40.2%、「女性」45.2%となっている。



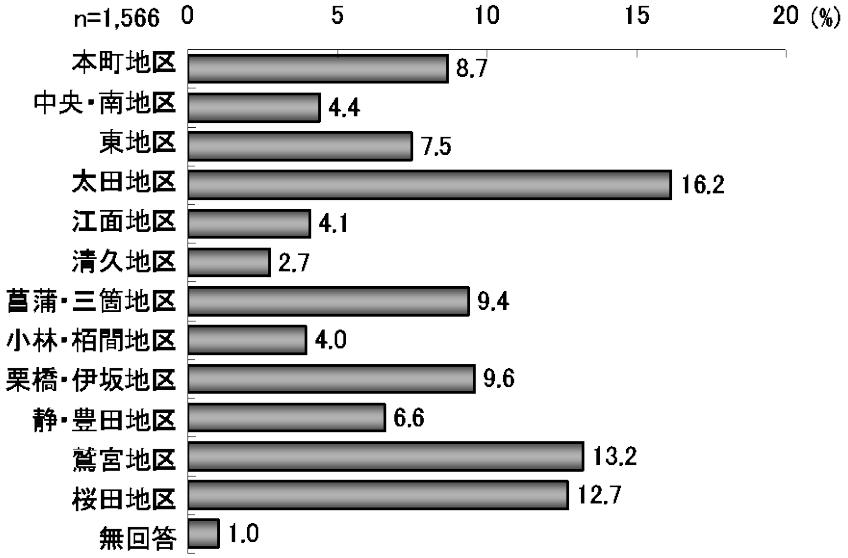
2．年齢

年齢は、「60～64 歳」が 14.1%と最も多い。ついで、「55～59 歳」(11.4%)、「65～69 歳」(10.4%) が１割強となっている。



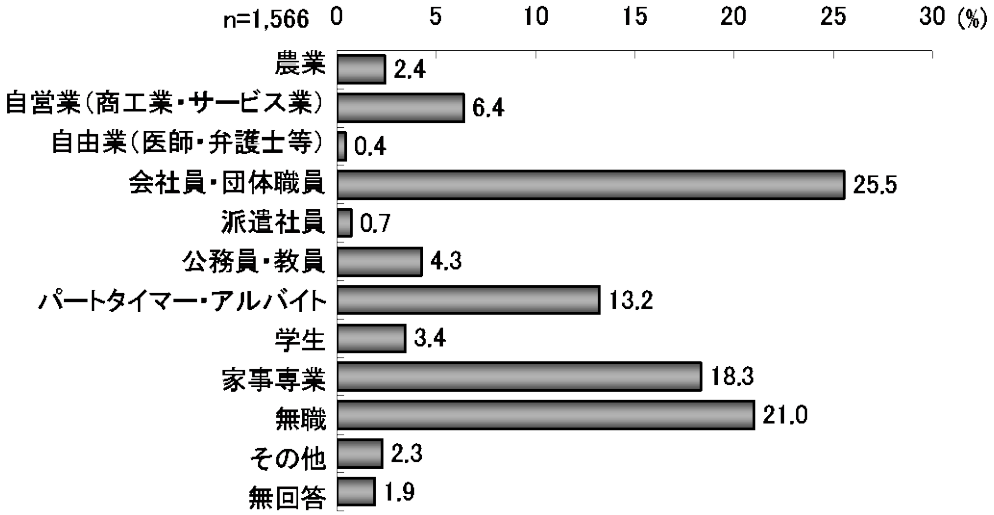
3. 居住地区

居住地区は、「太田地区」（16.2%）、「鷲宮地区」（13.2%）、「桜田地区」（12.7%）が１割を超え多くなっている。



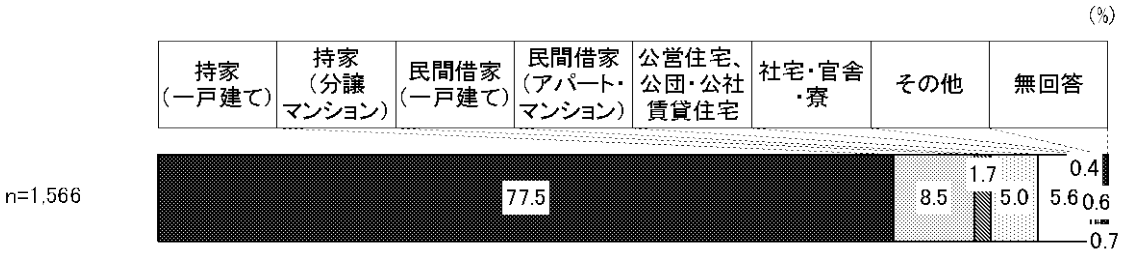
4. 職業

職業は、「会社員・団体職員」が 25.5%と最も多く、４人に１人の割合となっている。ついで、「無職」（21.0%）と「家事専業」（18.3%）が２割前後と多い。



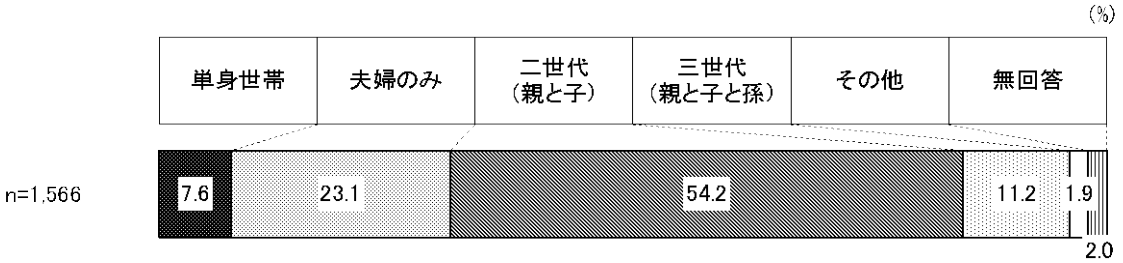
5. 住居形態

住居形態は、「持家（一戸建て）」が 77.5%と多数を占めている。



6. 家族形態

家族形態は、「二世代（親と子）」が 54.2%と最も多く、半数強を占めている。以下、「夫婦のみ」（23.1%）、「三世代（親と子と孫）」（11.2%）、「単身世帯」（7.6%）の順となっている。



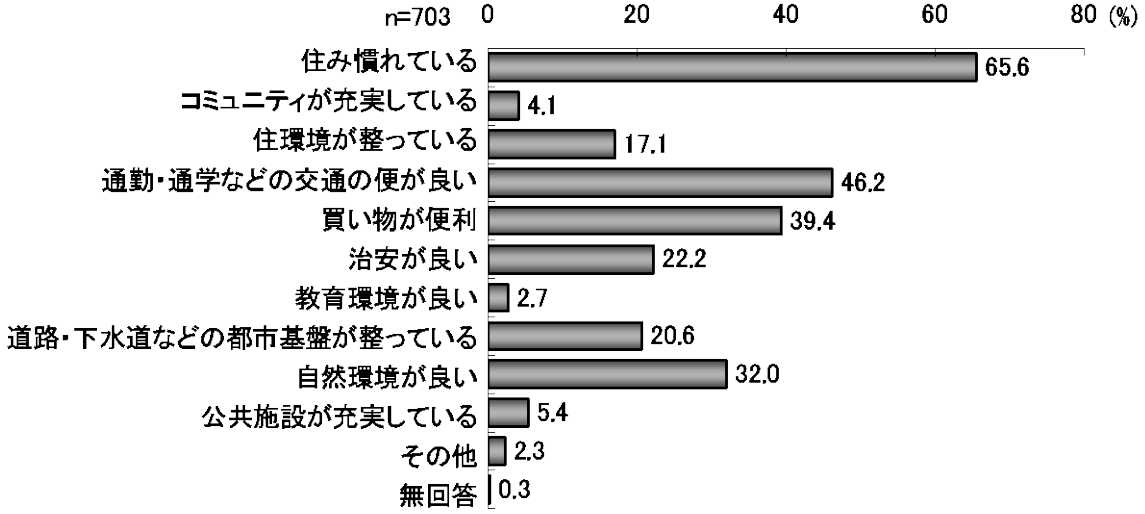
1. 居住状況について

1-3. 住みよさについて

（2）住みよい理由

久喜市が住みよいと回答した人の理由は、「住み慣れている」が 65.6%と最も多い。ついで、「通勤・通学などの交通の便が良い」（46.2%）、「買い物が便利」（39.4%）、「自然環境が良い」（32.0%）が３～４割で続いている。

問 3-1　問 3 で「1.住みよい」とお答えいただいた方におたずねします。その理由を次の中から 3 つまで選んで○印をつけてください。



≪居住地区、年齢別　住みよい理由≫

居住地区別にみると、「住み慣れている」は菖蒲・三箇地区、清久地区、江面地区、小林・栢間地区、静・豊田地区で７～８割と多い。「通勤・通学などの交通の便が良い」は東地区、中央・南地区、太田地区で６割台と多い。

年齢別では、「住み慣れている」は 18～29 歳、「通勤・通学などの交通の便が良い」は 18～29 歳と 40 歳代で６割と多くなっている。この他、60 歳代で「自然環境が良い」をあげる人が４割強と多い。

(%)

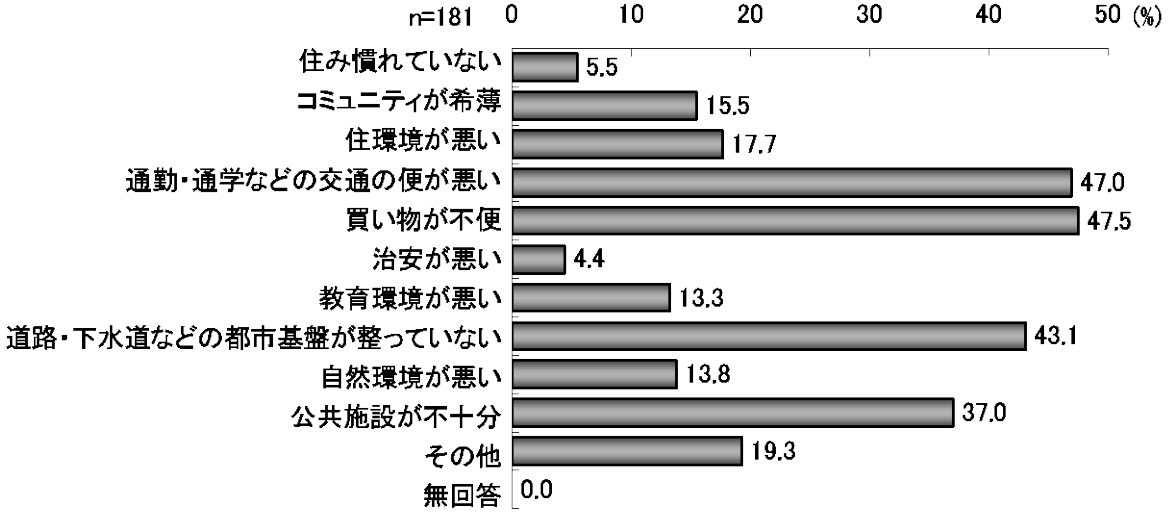
		n	住み慣れている	コミュニティが充実している	住環境が整っている	通勤・通学などの交通の便が良い	買い物が便利	治安が良い
全体		703	65.6	4.1	17.1	46.2	39.4	22.2
居住地区	本町地区	76	61.8	1.3	17.1	△ 55.3	○ 50.0	▼ 14.5
	中央・南地区	41	★ 48.8	2.4	17.1	○ 61.0	△ 46.3	★ 4.9
	東地区	52	▼ 59.6	7.7	17.3	☆ 69.2	42.3	25.0
	太田地区	144	● 55.6	4.2	△ 22.2	○ 60.4	△ 45.1	18.8
	江面地区	31	☆ 80.6	3.2	16.1	★ 29.0	★ 12.9	☆ 41.9
	清久地区	21	☆ 81.0	4.8	▼ 9.5	▼ 38.1	● 28.6	★ 4.8
	菖蒲・三箇地区	45	☆ 86.7	2.2	13.3	★ 8.9	40.0	○ 35.6
	小林・栢間地区	18	○ 77.8	0.0	▼ 11.1	★ 0.0	★ 5.6	△ 27.8
	栗橋・伊坂地区	44	68.2	4.5	● 4.5	○ 59.1	▼ 29.5	△ 31.8
	静・豊田地区	29	○ 75.9	3.4	17.2	★ 24.1	★ 17.2	▼ 13.8
	鷲宮地区	86	69.8	5.8	▼ 10.5	● 33.7	36.0	22.1
	桜田地区	114	65.8	5.3	△ 24.6	45.6	△ 48.2	△ 27.2
年齢	18～29 歳	75	○ 80.0	5.3	16.0	○ 60.0	▼ 33.3	25.3
	30 歳代	85	▼ 56.5	3.5	△ 23.5	47.1	△ 45.9	18.8
	40 歳代	80	▼ 57.5	1.3	15.0	☆ 61.3	△ 48.8	20.0
	50 歳代	140	65.0	3.6	16.4	42.1	38.6	25.7
	60 歳代	179	65.4	5.0	15.6	45.3	41.9	20.7
	70 歳代	102	68.6	5.9	△ 22.5	▼ 37.3	▼ 33.3	17.6
	80 歳以上	31	67.7	3.2	● 3.2	● 32.3	● 29.0	○ 35.5

		n	教育環境が良い	道路・下水道などの都市基盤が整っている	自然環境が良い	公共施設が充実している	その他	無回答
全体		703	2.7	20.6	32.0	5.4	2.3	0.3
居住地区	本町地区	76	5.3	△ 28.9	★ 14.5	9.2	5.3	0.0
	中央・南地区	41	2.4	△ 29.3	● 19.5	2.4	7.3	2.4
	東地区	52	1.9	△ 28.8	★ 9.6	5.8	3.8	0.0
	太田地区	144	4.9	○ 33.3	▼ 25.0	5.6	1.4	0.0
	江面地区	31	6.5	16.1	○ 45.2	9.7	3.2	0.0
	清久地区	21	0.0	● 9.5	▼ 23.8	▼ 0.0	0.0	0.0
	菖蒲・三箇地区	45	0.0	▼ 13.3	☆ 51.1	2.2	0.0	0.0
	小林・栢間地区	18	0.0	▼ 11.1	☆ 66.7	▼ 0.0	0.0	0.0
	栗橋・伊坂地区	44	2.3	▼ 11.4	△ 40.9	4.5	0.0	0.0
	静・豊田地区	29	0.0	● 10.3	○ 44.8	6.9	0.0	0.0
	鷲宮地区	86	2.3	▼ 15.1	○ 45.3	7.0	2.3	0.0
	桜田地区	114	0.9	● 10.5	36.0	4.4	1.8	0.0
年齢	18～29 歳	75	4.0	★ 5.3	★ 13.3	6.7	1.3	0.0
	30 歳代	85	2.4	● 10.6	30.6	4.7	2.4	0.0
	40 歳代	80	3.8	▼ 11.3	▼ 26.3	7.5	2.5	0.0
	50 歳代	140	2.9	17.1	32.9	5.0	4.3	0.0
	60 歳代	179	3.9	△ 27.9	○ 44.1	4.5	2.2	0.0
	70 歳代	102	0.0	○ 33.3	31.4	5.9	0.0	1.0
	80 歳以上	31	0.0	○ 35.5	29.0	6.5	0.0	0.0

（３）住みにくい理由

久喜市は住みにくいと回答した人の理由は、「買い物が不便」（47.5%）、「通勤・通学などの交通の便が悪い」（47.0%）、「道路・下水道などの都市基盤が整っていない」（43.1%）が４割台と多い。

問 3-2　問 3 で「2.住みにくい」とお答えいただいた方におたずねします。その理由を次の中から 3 つまで選んで○印をつけてください。



≪居住地区、年齢別　住みにくい理由≫

居住地区別にみると、菖蒲・三箇地区、小林・栢間地区で「通勤・通学などの交通の便が悪い」をあげる人が８～９割と多くなっている。

年齢別では、30 歳代や 40 歳代では「教育環境が悪い」「公共施設が不十分」、50 歳代では「通勤・通学などの交通の便が悪い」「買い物が不便」をあげる人がやや多くなっている。

(%)

		n	住み慣れていない	コミュニティが希薄	住環境が悪い	通勤・通学などの交通の便が悪い	買い物が不便	治安が悪い
全体		181	5.5	15.5	17.7	47.0	47.5	4.4
居住地区	本町地区	11	▼ 0.0	18.2	△ 27.3	★ 9.1	● 36.4	9.1
	中央・南地区	3	▼ 0.0	★ 0.0	☆ 33.3	● 33.3	● 33.3	0.0
	東地区	10	10.0	20.0	20.0	★ 20.0	50.0	0.0
	太田地区	15	△ 13.3	☆ 40.0	13.3	★ 26.7	▼ 40.0	6.7
	江面地区	6	○ 16.7	16.7	☆ 33.3	● 33.3	☆ 83.3	0.0
	清久地区	6	▼ 0.0	☆ 33.3	☆ 33.3	★ 16.7	● 33.3	○ 16.7
	菖蒲・三箇地区	34	2.9	△ 20.6	▼ 11.8	☆ 94.1	★ 29.4	0.0
	小林・栢間地区	16	6.3	★ 0.0	● 6.3	☆ 81.3	☆ 87.5	0.0
	栗橋・伊坂地区	21	9.5	★ 0.0	14.3	★ 28.6	○ 61.9	4.8
	静・豊田地区	15	▼ 0.0	▼ 6.7	13.3	46.7	○ 60.0	6.7
	鷲宮地区	27	3.7	△ 22.2	△ 25.9	● 33.3	48.1	7.4
	桜田地区	13	7.7	▼ 7.7	△ 23.1	★ 30.8	★ 30.8	7.7
年齢	18～29 歳	18	5.6	▼ 5.6	16.7	☆ 66.7	△ 55.6	5.6
	30 歳代	37	▼ 0.0	▼ 8.1	▼ 10.8	51.4	45.9	2.7
	40 歳代	27	7.4	▼ 7.4	▼ 11.1	51.9	● 37.0	3.7
	50 歳代	28	3.6	17.9	21.4	○ 60.7	△ 57.1	3.6
	60 歳代	48	10.4	△ 22.9	△ 27.1	● 35.4	43.8	6.3
	70 歳代	16	▼ 0.0	△ 25.0	▼ 12.5	★ 25.0	● 37.5	0.0
	80 歳以上	6	○ 16.7	☆ 33.3	16.7	● 33.3	☆ 83.3	○ 16.7

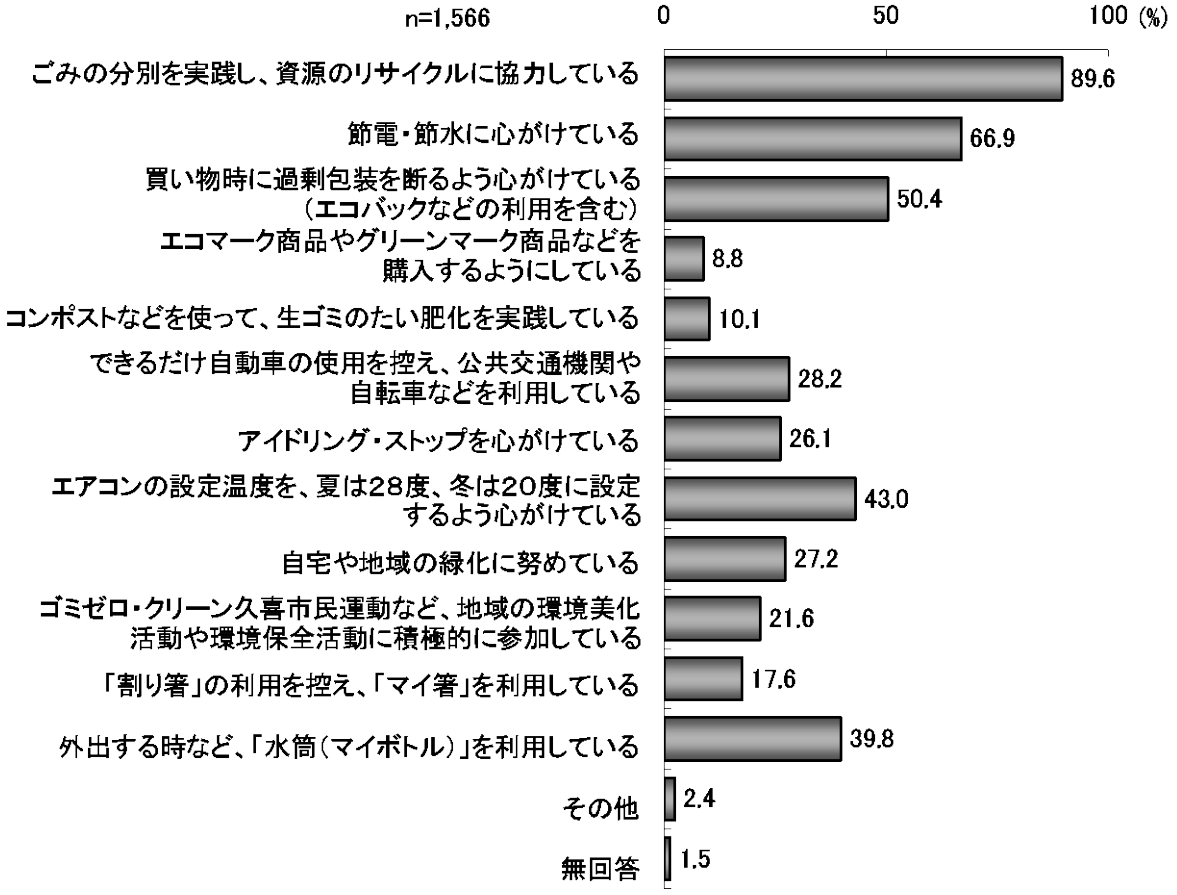
		n	教育環境が悪い	道路・下水道などの都市基盤が整っていない	自然環境が悪い	公共施設が不十分	その他	無回答
全体		181	13.3	43.1	13.8	37.0	19.3	0.0
居住地区	本町地区	11	18.2	▼ 36.4	9.1	△ 45.5	36.4	0.0
	中央・南地区	3	☆ 33.3	▼ 33.3	☆ 33.3	33.3	33.3	0.0
	東地区	10	△ 20.0	△ 50.0	△ 20.0	☆ 60.0	10.0	0.0
	太田地区	15	13.3	40.0	○ 26.7	40.0	26.7	0.0
	江面地区	6	16.7	△ 50.0	16.7	★ 0.0	16.7	0.0
	清久地区	6	16.7	☆ 66.7	☆ 33.3	★ 0.0	33.3	0.0
	菖蒲・三箇地区	34	8.8	● 32.4	▼ 8.8	★ 20.6	14.7	0.0
	小林・栢間地区	16	● 0.0	▼ 37.5	● 0.0	★ 18.8	6.3	0.0
	栗橋・伊坂地区	21	☆ 28.6	○ 57.1	14.3	☆ 57.1	14.3	0.0
	静・豊田地区	15	13.3	☆ 66.7	13.3	33.3	26.7	0.0
	鷲宮地区	27	▼ 3.7	40.7	14.8	☆ 59.3	7.4	0.0
	桜田地区	13	15.4	● 30.8	15.4	△ 46.2	38.5	0.0
年齢	18～29 歳	18	▼ 5.6	▼ 33.3	16.7	▼ 27.8	11.1	0.0
	30 歳代	37	☆ 29.7	40.5	16.2	△ 43.2	27.0	0.0
	40 歳代	27	○ 25.9	△ 48.1	14.8	○ 51.9	11.1	0.0
	50 歳代	28	14.3	46.4	▼ 7.1	▼ 28.6	21.4	0.0
	60 歳代	48	● 2.1	47.9	14.6	▼ 29.2	20.8	0.0
	70 歳代	16	● 0.0	43.8	18.8	37.5	18.8	0.0
	80 歳以上	6	● 0.0	★ 16.7	● 0.0	○ 50.0	16.7	0.0

2. 環境保全について

2-1. 環境保全に関する活動について

環境保全に関する活動や気をつけていることとしては、「ごみの分別を実践し、資源のリサイクルに協力している」（89.6%）が最も多く、約９割を占めている。ついで、「節電・節水に心がけている」（66.9%）、「買い物時に過剰包装を断るよう心がけている（エコバックなどの利用を含む）」（50.4%）が５～６割と多い。

問 5 地球環境保全への意識や取り組みが盛んになっていますが、あなたは日頃、環境保全に関する活動を行ったり、日常生活の中で気をつけていることはありますか。次の中から、あなたが行っているものすべてに○印をつけてください。



≪居住地区、年齢別　環境保全に関する活動について≫

居住地区別でみると、「できるだけ自動車の使用を控え、公共交通機関や自転車などを利用している」は中央・南地区、「ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動など、地域の環境美化活動や環境保全活動に積極的に参加している」は桜田地区で多くなっている。

年齢別では、全般的に 18～29 歳の各活動についての回答比率が低くなっている。

(%)

		n	ごみの分別を実践し、資源のリサイクルに協力している	節電・節水に心がけている	買い物時に過剰包装を断るよう心がけている（エコバックなどの利用を含む）	エコマーク商品やグリーンマーク商品などを購入するようにしている	コンポストなどを使って、生ゴミのたい肥化を実践している	できるだけ自動車の使用を控え、公共交通機関や自転車などを利用している	アイドリング・ストップを心がけている
全体		1,566	89.6	66.9	50.4	8.8	10.1	28.2	26.1
居住地区	本町地区	136	93.4	70.6	50.0	9.6	7.4	△ 35.3	△ 33.1
	中央・南地区	69	89.9	△ 73.9	△ 58.0	8.7	7.2	☆ 53.6	▼ 20.3
	東地区	117	△ 94.9	63.2	47.0	10.3	12.0	△ 36.8	24.8
	太田地区	253	91.3	67.2	46.2	7.9	11.9	△ 33.6	30.8
	江面地区	64	89.1	△ 71.9	48.4	△ 15.6	○ 20.3	● 14.1	△ 31.3
	清久地区	43	90.7	▼ 58.1	51.2	○ 23.3	△ 18.6	● 16.3	△ 32.6
	菖蒲・三箇地区	147	90.5	65.3	53.7	9.5	8.2	▼ 18.4	27.2
	小林・栢間地区	62	△ 95.2	62.9	53.2	▼ 1.6	○ 24.2	★ 9.7	24.2
	栗橋・伊坂地区	150	90.7	69.3	△ 60.0	9.3	6.7	30.7	26.7
	静・豊田地区	103	▼ 84.5	63.1	▼ 41.7	6.8	8.7	● 14.6	24.3
	鷲宮地区	207	86.0	66.7	46.9	7.7	5.3	28.0	▼ 19.8
	桜田地区	199	87.9	69.3	55.3	6.5	9.5	27.1	21.6
年齢	18～29 歳	160	● 78.8	★ 45.0	● 37.5	6.9	▼ 3.8	24.4	● 12.5
	30 歳代	207	▼ 84.1	64.3	53.6	5.3	6.3	▼ 20.3	29.5
	40 歳代	208	90.4	70.2	53.4	7.2	7.7	▼ 22.1	25.0
	50 歳代	310	△ 95.2	69.0	△ 57.7	10.6	11.9	▼ 23.2	30.3
	60 歳代	384	94.5	△ 72.4	54.7	9.9	13.5	△ 35.7	31.0
	70 歳代	213	92.0	△ 73.2	▼ 45.1	10.3	11.7	○ 40.4	24.9
	80 歳以上	57	● 78.9	▼ 57.9	★ 24.6	7.0	14.0	▼ 22.8	★ 8.8

		n	エアコンの設定温度を、夏は28度、冬は20度に設定するよう心がけている	自宅や地域の緑化に努めている	ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動など、地域の環境美化活動や環境保全活動に積極的に参加している	「割り箸」の利用を控え、「マイ箸」を利用している	外出する時など、「水筒（マイボトル）」を利用している	その他	無回答
全体		1,566	43.0	27.2	21.6	17.6	39.8	2.4	1.5
居住地区	本町地区	136	41.2	29.4	▼ 11.8	△ 22.8	40.4	4.4	0.0
	中央・南地区	69	○ 53.6	27.5	▼ 15.9	18.8	39.1	2.9	1.4
	東地区	117	△ 50.4	▼ 22.2	18.8	17.1	△ 47.0	2.6	0.9
	太田地区	253	42.3	25.7	17.0	17.0	42.7	0.8	1.6
	江面地区	64	43.8	○ 37.5	21.9	○ 29.7	35.9	3.1	1.6
	清久地区	43	▼ 37.2	△ 34.9	18.6	16.3	41.9	2.3	2.3
	菖蒲・三箇地区	147	39.5	27.2	● 11.6	20.4	37.4	1.4	1.4
	小林・栢間地区	62	▼ 35.5	22.6	★ 6.5	▼ 9.7	● 27.4	3.2	0.0
	栗橋・伊坂地区	150	42.7	△ 32.7	21.3	15.3	△ 45.3	3.3	0.7
	静・豊田地区	103	45.6	△ 35.0	23.3	18.4	38.8	2.9	1.0
	鷲宮地区	207	44.4	22.7	△ 30.4	16.9	40.1	2.4	1.4
	桜田地区	199	41.7	23.6	☆ 40.7	13.1	▼ 34.2	1.5	1.5
年齢	18～29 歳	160	● 31.9	★ 4.4	★ 0.6	18.1	● 29.4	3.1	2.5
	30 歳代	207	▼ 34.3	● 16.4	▼ 12.6	▼ 11.1	△ 45.9	1.0	2.4
	40 歳代	208	40.9	▼ 17.8	17.3	19.7	38.0	3.4	0.5
	50 歳代	310	39.7	29.7	24.8	16.1	▼ 34.5	2.3	0.6
	60 歳代	384	△ 52.1	○ 38.0	○ 32.0	19.0	△ 44.8	2.6	0.3
	70 歳代	213	△ 52.1	○ 39.9	△ 26.8	△ 23.0	43.7	1.9	1.4
	80 歳以上	57	43.9	△ 36.8	19.3	14.0	▼ 33.3	0.0	5.3

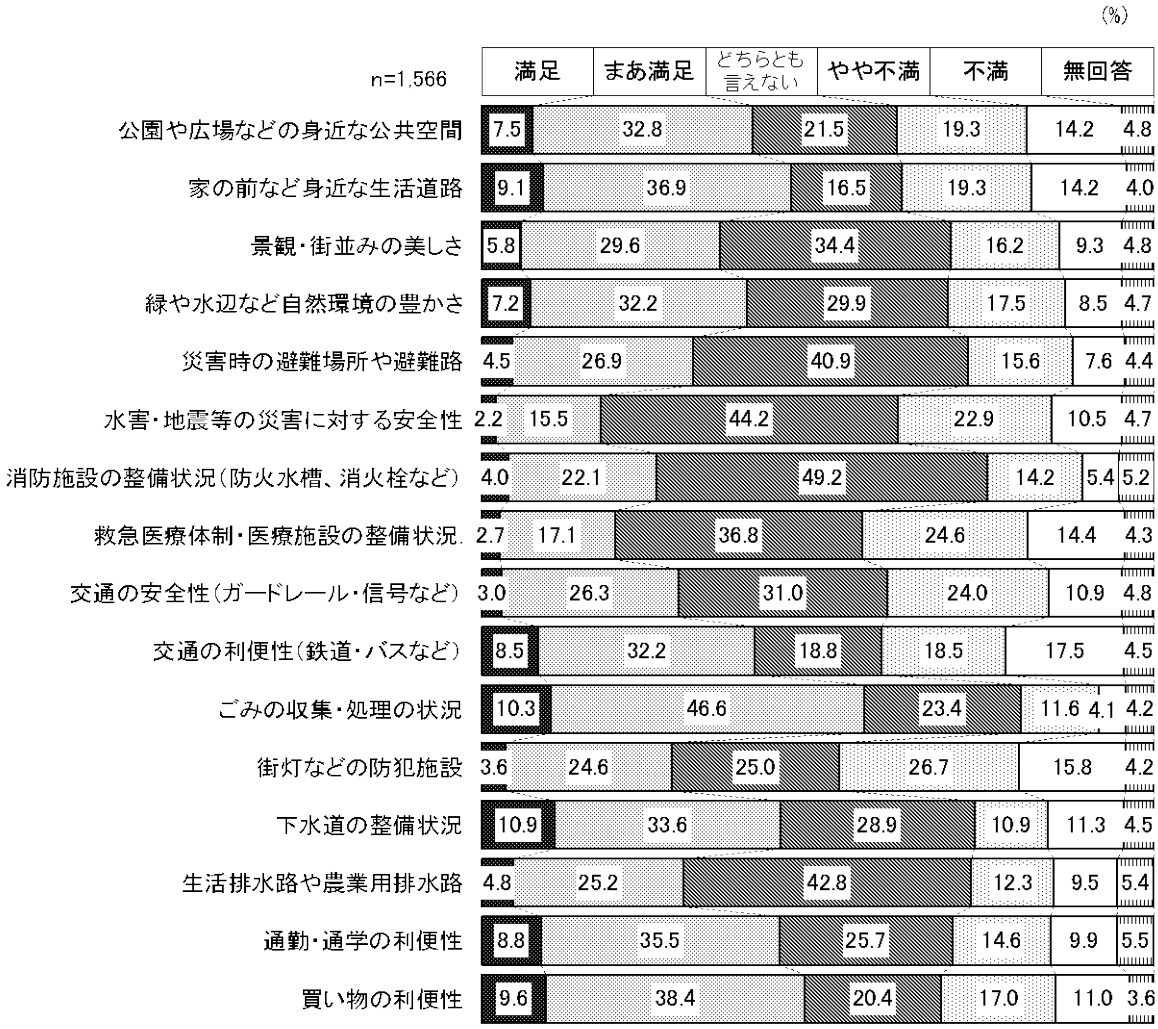
10. 地域の生活環境について

10-1. 居住地域の生活環境について日頃感じていること

居住地域の生活環境の満足度をみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”との回答が最も多いのは「ごみの収集・処理の状況」(56.9%) である。ついで、「買い物の利便性」(48.0%)、「家の前など身近な生活道路」(46.0%)、「下水道の整備状況」(44.5%)、「通勤・通学の利便性」(44.3%) の４項目が 40%台で続いている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”との回答が最も多かったのは「街灯などの防犯施設」(42.5%) であり、以下「救急医療体制・医療施設の整備状況」(39.0%)、「交通の利便性（鉄道・バスなど)」(36.0%)、「交通の安全性（ガードレール・信号など)」(34.9%)、「公園や広場などの身近な公共空間」(35.5%)、「家の前など身近な生活道路」(33.5%)、「水害・地震等の災害に対する安全性」(33.4%) の６項目が 30%で続いている。

問 22 あなたがお住まいの地域の生活環境について、日頃どのように感じていますか。次の各項目について、数字の中からそれぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。



≪居住地区、年齢別　居住地域の生活環境について日頃感じていること≫

満足率が最も高かった「ごみの収集・処理の状況」は、東地区では７割弱と高くなっているが、菖蒲・三箇地区では４割にとどまっている。次に高かった「買い物の利便性」は、桜田地区では７割弱と高いが、小林・栢間地区、江面地区では１割台にとどまる。全般的に、太田地区や桜田地区では満足率が高くなっている。

年齢別にみると、満足率が最も高かった「ごみの収集・処理の状況」は 18～29 歳では 46.3％と低く、５割を切っている。

【満足率（「満足」と「まあ満足」の合計比率）】　(%)

		n	公園や広場などの身近な公共空間	家の前など身近な生活道路	景観・街並みの美しさ	緑や水辺など自然環境の豊かさ	災害時の避難場所や避難路	水害・地震等の災害に対する安全性	消防施設の整備状況（防火水槽、消火栓など）	救急医療体制・医療施設の整備状況
全体		1,566	40.3	46.0	35.4	39.4	31.4	17.7	26.1	19.8
居住地区	本町地区	136	▼ 33.8	47.0	33.0	● 27.9	△ 38.2	16.9	26.4	20.6
	中央・南地区	69	★ 20.2	★ 27.5	31.9	▼ 30.4	▼ 24.6	13.0	27.5	△ 29.0
	東地区	117	▼ 32.5	▼ 39.3	● 21.3	● 24.8	▼ 24.8	● 6.9	23.1	17.1
	太田地区	253	☆ 59.7	△ 52.6	○ 46.6	40.7	33.9	20.2	27.6	21.0
	江面地区	64	36.0	● 36.0	▼ 29.7	39.1	△ 39.0	△ 23.5	○ 39.1	○ 32.8
	清久地区	43	★ 16.3	★ 23.3	32.6	34.9	27.9	21.0	27.9	○ 30.2
	菖蒲・三箇地区	147	38.7	▼ 40.1	● 23.1	○ 49.6	33.4	△ 23.1	▼ 21.1	● 9.6
	小林・栢間地区	62	★ 17.7	43.6	40.3	△ 48.4	32.2	16.1	27.4	19.3
	栗橋・伊坂地区	150	★ 19.3	▼ 40.0	★ 18.6	▼ 33.3	● 18.6	14.0	▼ 19.3	▼ 12.0
	静・豊田地区	103	39.8	48.6	△ 43.7	△ 45.6	29.1	▼ 12.6	26.2	19.4
	鷲宮地区	207	38.7	44.9	31.9	37.2	32.4	16.9	25.1	23.6
	桜田地区	199	☆ 65.8	☆ 67.4	☆ 54.8	○ 52.8	△ 37.2	△ 23.6	29.6	20.6
年齢	18～29 歳	160	43.8	△ 51.3	37.5	41.2	31.9	20.0	26.3	23.1
	30 歳代	207	38.7	47.8	△ 43.0	△ 46.4	34.3	18.8	26.5	16.9
	40 歳代	208	37.5	42.4	39.4	△ 48.1	△ 36.6	13.5	24.1	18.8
	50 歳代	310	42.5	45.5	36.5	39.7	29.0	20.7	24.9	17.1
	60 歳代	384	42.5	48.0	34.3	38.0	32.8	18.5	27.9	21.6
	70 歳代	213	35.7	42.7	▼ 26.7	● 27.7	30.1	15.5	26.3	21.1
	80 歳以上	57	40.4	42.2	★ 19.3	● 28.1	● 21.1	▼ 12.3	24.6	21.1

		n	交通の安全性（ガードレール・信号など）	交通の利便性（鉄道・バスなど）	ごみの収集・処理の状況	街灯などの防犯施設	下水道の整備状況	生活排水路や農業用排水路	通勤・通学の利便性	買い物の利便性
全体		1,566	29.3	40.7	56.9	28.2	44.5	30.0	44.3	48.0
居住地区	本町地区	136	27.9	○ 51.5	61.7	○ 40.4	☆ 59.5	○ 41.1	○ 57.3	○ 60.3
	中央・南地区	69	△ 39.1	☆ 62.3	△ 66.6	△ 34.7	☆ 65.2	△ 37.6	☆ 69.6	○ 59.4
	東地区	117	25.6	○ 54.7	○ 69.2	32.5	☆ 61.5	△ 35.0	☆ 61.6	△ 54.7
	太田地区	253	33.9	☆ 58.1	59.7	32.1	△ 51.0	32.8	○ 55.4	○ 58.1
	江面地区	64	31.2	★ 25.0	60.9	△ 34.4	▼ 39.0	29.7	★ 26.6	★ 18.7
	清久地区	43	▼ 20.9	39.5	58.1	25.6	△ 53.5	△ 37.2	● 30.2	★ 32.5
	菖蒲・三箇地区	147	● 19.0	★ 7.5	★ 41.5	★ 12.9	★ 27.2	● 18.3	★ 9.5	44.9
	小林・栢間地区	62	▼ 22.6	★ 4.8	▼ 51.6	▼ 22.6	▼ 38.7	25.8	★ 11.3	★ 14.5
	栗橋・伊坂地区	150	32.6	43.3	54.7	▼ 20.7	▼ 36.0	26.7	45.3	▼ 42.0
	静・豊田地区	103	29.1	● 26.2	▼ 51.4	27.2	● 32.1	29.1	★ 27.2	★ 22.3
	鷲宮地区	207	26.1	39.1	53.6	27.1	40.6	29.9	41.6	▼ 43.0
	桜田地区	199	△ 36.2	△ 45.8	60.8	31.1	42.2	26.6	☆ 59.8	☆ 68.8
年齢	18～29 歳	160	33.8	42.5	● 46.3	23.8	▼ 36.9	32.6	47.6	51.9
	30 歳代	207	▼ 23.7	36.7	54.6	▼ 23.2	▼ 37.2	30.5	39.6	51.7
	40 歳代	208	25.4	41.4	55.8	23.6	44.2	29.8	44.7	48.1
	50 歳代	310	32.6	40.3	59.3	25.5	43.6	27.4	46.4	52.2
	60 歳代	384	30.8	43.0	61.2	△ 33.9	△ 50.3	31.2	45.8	50.0
	70 歳代	213	30.6	41.8	57.7	△ 33.8	48.3	31.0	44.1	▼ 38.5
	80 歳以上	57	▼ 22.9	● 29.8	54.4	28.1	43.9	29.8	★ 28.1	★ 28.1

不満率をみると、「街灯などの防犯施設」は菖蒲・三箇地区と栗橋・伊坂地区で 55%前後と多い。「交通の利便性（鉄道・バスなど)」や「通勤・通学の利便性」は、菖蒲・三箇地区と小林・栢間地区で高くなっている。

年齢別では、「街灯などの防犯施設」は 40 歳代以下で５割前後と高い。「救急医療体制・医療施設の整備状況」「交通の安全性（ガードレール・信号など)」「通勤・通学の利便性」も 30～40 歳代の不満率が高くなっている。

【不満率(「不満」と「やや不満」の合計比率)】

(%)

		n	公園や広場などの身近な公共空間	家の前など身近な生活道路	景観・街並みの美しさ	緑や水辺など自然環境の豊かさ	災害時の避難場所や避難路	水害・地震等の災害に対する安全性	消防施設の整備状況（防火水槽、消火栓など）	救急医療体制・医療施設の整備状況
全体		1,566	33.5	33.5	25.5	26.0	23.2	33.4	19.6	39.0
居住地区	本町地区	136	△ 40.4	33.8	28.7	30.9	▼ 16.9	30.2	17.6	42.6
	中央・南地区	69	○ 46.4	△ 42.0	23.1	30.4	△ 28.9	33.3	17.3	▼ 31.9
	東地区	117	△ 42.7	△ 42.8	△ 33.3	☆ 44.5	△ 29.1	△ 38.4	18.8	41.0
	太田地区	253	● 20.9	29.3	● 15.4	22.5	▼ 16.2	29.3	16.3	41.5
	江面地区	64	35.9	☆ 54.7	△ 31.3	28.1	25.0	▼ 26.6	15.6	● 26.5
	清久地区	43	☆ 53.5	☆ 48.8	△ 34.9	○ 37.3	△ 32.5	32.6	18.6	● 27.9
	菖蒲・三箇地区	147	▼ 25.2	31.9	27.9	▼ 17.7	25.2	28.5	21.1	○ 53.8
	小林・栢間地区	62	△ 42.0	29.0	▼ 17.7	● 12.9	▼ 17.7	● 20.9	17.7	42.0
	栗橋・伊坂地区	150	☆ 54.0	38.0	○ 40.0	30.7	○ 33.3	○ 46.0	○ 30.6	△ 46.7
	静・豊田地区	103	△ 38.9	34.0	27.2	21.4	28.1	△ 42.8	18.5	△ 45.6
	鷲宮地区	207	32.4	31.4	26.1	29.9	22.7	△ 39.1	21.2	● 27.5
	桜田地区	199	★ 17.1	● 20.6	▼ 17.1	▼ 18.1	18.6	▼ 28.1	17.6	▼ 33.6
年齢	18～29 歳	160	33.2	30.7	30.0	28.7	19.4	30.0	15.7	▼ 32.5
	30 歳代	207	△ 41.6	33.3	27.5	29.9	24.6	36.3	21.7	△ 47.3
	40 歳代	208	36.5	△ 40.4	25.0	21.2	23.1	35.6	18.8	△ 48.5
	50 歳代	310	35.2	36.1	28.7	26.8	24.5	31.9	19.0	39.7
	60 歳代	384	33.1	30.2	23.7	26.0	21.3	35.2	21.1	38.5
	70 歳代	213	▼ 26.7	33.8	23.5	29.6	24.4	33.3	20.2	▼ 30.0
	80 歳以上	57	★ 15.8	▼ 28.0	▼ 17.5	● 14.1	24.6	▼ 26.3	15.8	▼ 29.8

		n	交通の安全性（ガードレール・信号など）	交通の利便性（鉄道・バスなど）	ごみの収集・処理の状況	街灯などの防犯施設	下水道の整備状況	生活排水路や農業用排水路	通勤・通学の利便性	買い物の利便性
全体		1,566	34.9	36.0	15.7	42.5	22.2	21.8	24.5	28.0
居住地区	本町地区	136	36.0	● 23.5	14.7	● 29.4	● 11.8	● 10.3	● 11.0	● 16.9
	中央・南地区	69	▼ 27.5	★ 15.9	13.0	▼ 34.7	★ 5.8	● 7.2	★ 5.7	▼ 20.3
	東地区	117	35.0	★ 19.6	▼ 10.2	39.3	▼ 15.3	▼ 14.5	● 12.8	25.7
	太田地区	253	31.6	★ 18.5	13.9	▼ 34.4	▼ 16.2	18.6	● 12.3	▼ 19.7
	江面地区	64	37.5	☆ 53.1	12.5	40.7	○ 32.8	☆ 39.1	○ 39.1	☆ 56.3
	清久地区	43	△ 41.8	32.5	18.6	44.2	▼ 13.9	23.3	△ 30.2	32.6
	菖蒲・三箇地区	147	△ 42.8	☆ 74.8	○ 26.5	○ 56.4	○ 35.4	○ 36.7	☆ 58.5	27.8
	小林・栢間地区	62	35.5	☆ 80.7	11.3	△ 51.6	17.8	△ 29.1	☆ 62.9	☆ 64.5
	栗橋・伊坂地区	150	31.3	33.3	13.4	○ 54.0	○ 33.3	22.6	24.0	26.7
	静・豊田地区	103	34.9	☆ 52.4	14.5	45.6	☆ 37.8	△ 31.0	○ 38.9	☆ 54.4
	鷲宮地区	207	37.6	37.2	15.0	42.0	22.2	20.7	21.8	29.4
	桜田地区	199	31.6	▼ 28.2	19.1	44.7	21.1	18.6	▼ 15.1	● 15.1
年齢	18～29 歳	160	34.4	38.1	16.2	△ 50.0	18.2	▼ 15.0	26.3	26.3
	30 歳代	207	△ 41.6	△ 44.5	15.0	△ 49.8	24.6	21.7	△ 32.3	29.9
	40 歳代	208	△ 41.9	39.4	19.7	△ 51.0	23.1	19.2	△ 30.3	32.7
	50 歳代	310	37.1	38.1	17.0	46.7	23.3	21.6	28.1	27.1
	60 歳代	384	31.8	32.5	14.0	▼ 36.4	25.0	△ 28.6	19.8	26.3
	70 歳代	213	▼ 28.2	▼ 27.7	15.5	● 32.3	19.2	19.2	▼ 16.9	25.3
	80 歳以上	57	▼ 26.3	36.8	▼ 7.0	● 28.1	▼ 14.0	▼ 14.1	▼ 17.5	31.6

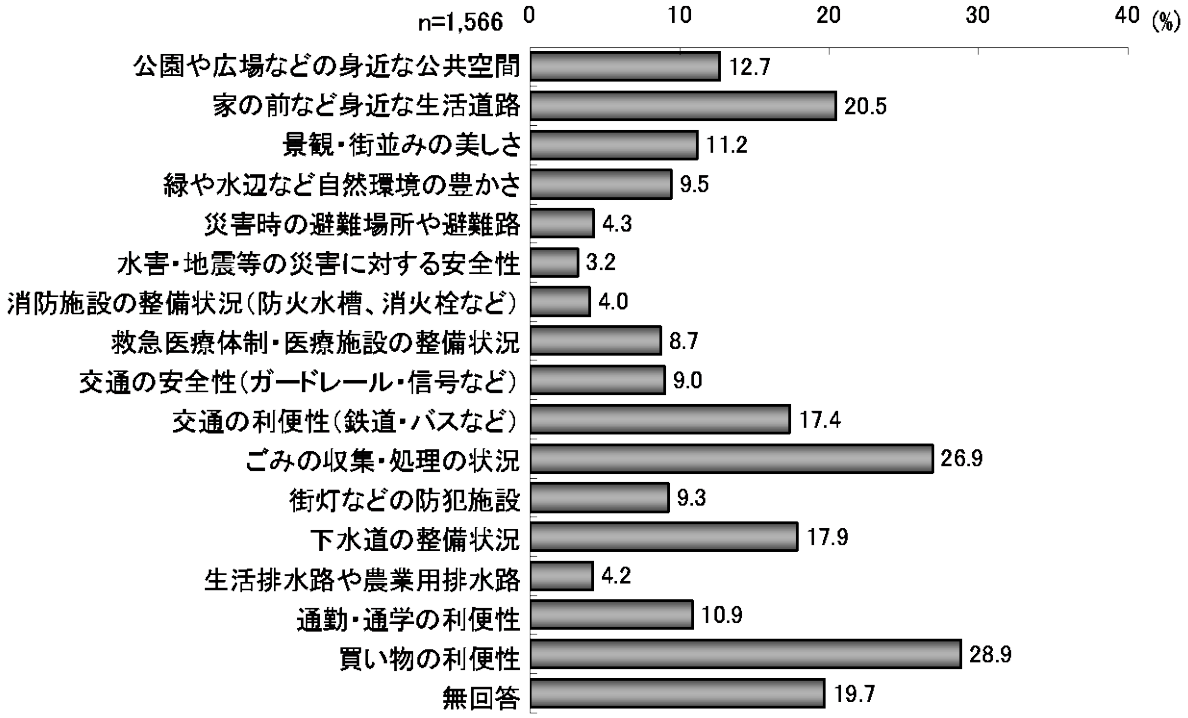
10-2. 居住地域の生活環境について

（１）ここ数年でよくなってきたこと

居住地域の生活環境について、ここ数年でよくなってきたと思うことについては、「買い物の利便性」（28.9%）、「ごみの収集・処理の状況」（26.9%）、「家の前など身近な生活道路」（20.5%）が２割台で上位にあげられている。

問 23 あなたは、あなたがお住まいの地域の生活環境で、どのようなことがここ数年でよくなってきたと思いますか。

（1）問 22 の項目の中（1～16）から、よくなってきたと思うものを3つまで選んで、次の欄にその番号を 記入してください。



≪居住地区、年齢別　ここ数年でよくなってきたこと≫

居住地区別にみると、「買い物の利便性」は菖蒲・三箇地区と桜田地区、「ごみの収集・処理の状況」「下水道の整備状況」は小林・栢間地区、「交通の利便性（鉄道・バスなど）」は中央・南地区、「公園や広場などの身近な公共空間」は桜田地区で特に多くなっている。

年齢別では、「買い物の利便性」は 40 歳代以下で、「下水道の整備状況」は 60～70 歳代で、「ごみの収集・処理の状況」は 60 歳代で多くなっている。

(%)

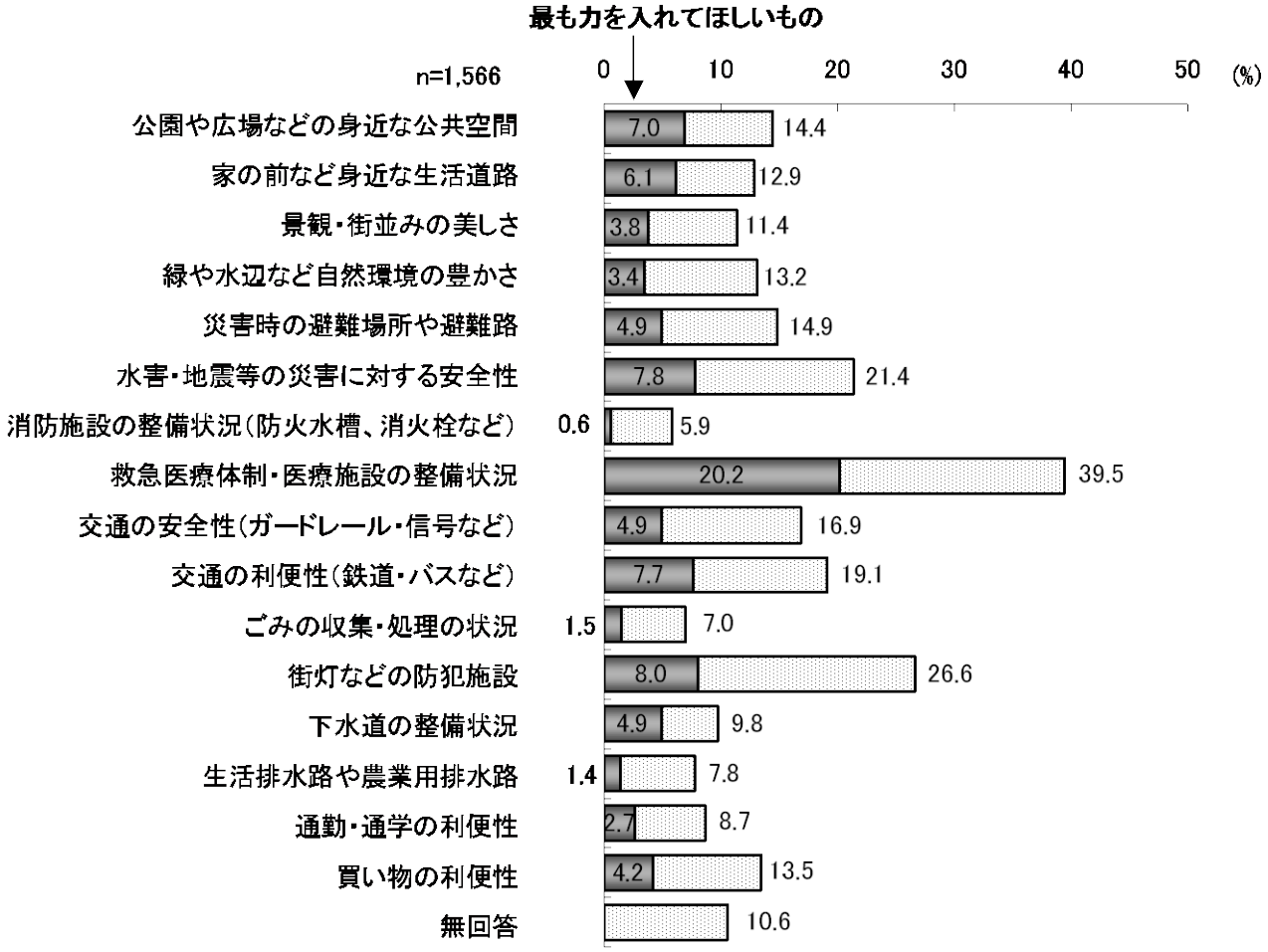
		n	公園や広場などの身近な公共空間	家の前など身近な生活道路	景観・街並みの美しさ	緑や水辺など自然環境の豊かさ	災害時の避難場所や避難路	水害・地震等の災害に対する安全性	消防施設の整備状況（防火水槽、消火栓など）	救急医療体制・医療施設の整備状況	交通の安全性（ガードレール・信号など）
全体		1,566	12.7	20.5	11.2	9.5	4.3	3.2	4.0	8.7	9.0
居住地区	本町地区	136	▼ 7.4	△ 27.2	8.8	8.8	7.4	3.7	4.4	△ 14.0	8.1
	中央・南地区	69	▼ 7.2	● 10.1	11.6	5.8	1.4	4.3	4.3	△ 15.9	13.0
	東地区	117	▼ 5.1	17.9	7.7	▼ 4.3	7.7	0.9	5.1	11.1	6.0
	太田地区	253	15.4	▼ 14.2	11.5	11.9	5.1	1.6	3.2	7.5	7.9
	江面地区	64	7.8	25.0	▼ 3.1	6.3	4.7	1.6	△ 12.5	△ 15.6	12.5
	清久地区	43	▼ 7.0	▼ 11.6	9.3	9.3	4.7	2.3	2.3	11.6	7.0
	菖蒲・三箇地区	147	▼ 6.8	△ 27.2	6.8	11.6	2.0	2.7	2.0	6.8	5.4
	小林・栢間地区	62	● 1.6	△ 29.0	▼ 4.8	9.7	1.6	1.6	6.5	6.5	8.1
	栗橋・伊坂地区	150	8.0	24.0	▼ 4.7	8.0	4.0	4.0	3.3	5.3	11.3
	静・豊田地区	103	△ 18.4	17.5	13.6	9.7	4.9	2.9	5.8	9.7	△ 15.5
	鷲宮地区	207	12.1	19.3	12.6	10.6	1.9	4.8	2.9	7.2	10.1
	桜田地区	199	☆ 31.7	22.1	○ 25.1	10.6	5.0	5.0	3.5	6.0	8.0
年齢	18～29 歳	160	16.3	24.4	13.1	8.1	3.1	3.8	1.3	8.8	12.5
	30 歳代	207	14.5	▼ 15.0	14.5	11.6	1.9	2.9	2.4	7.2	7.2
	40 歳代	208	▼ 6.3	18.3	9.6	9.6	3.8	3.8	1.4	9.6	8.2
	50 歳代	310	12.3	23.5	11.0	9.0	5.2	2.3	4.5	8.7	11.3
	60 歳代	384	15.1	21.6	12.0	10.2	4.9	4.4	4.7	8.3	8.1
	70 歳代	213	12.2	21.1	8.5	9.4	5.2	1.9	8.5	9.4	7.5
	80 歳以上	57	8.8	● 10.5	▼ 5.3	5.3	7.0	3.5	5.3	10.5	7.0

		n	交通の利便性（鉄道・バスなど）	ごみの収集・処理の状況	街灯などの防犯施設	下水道の整備状況	生活排水路や農業用排水路	通勤・通学の利便性	買い物の利便性	無回答
全体		1,566	17.4	26.9	9.3	17.9	4.2	10.9	28.9	19.7
居住地区	本町地区	136	19.9	24.3	8.1	△ 24.3	4.4	14.0	26.5	14.0
	中央・南地区	69	☆ 36.2	27.5	△ 14.5	17.4	0.0	△ 20.3	31.9	14.5
	東地区	117	○ 27.4	△ 35.0	7.7	21.4	2.6	△ 17.1	● 15.4	23.9
	太田地区	253	○ 31.6	25.3	13.4	17.0	3.2	△ 16.2	26.1	18.2
	江面地区	64	● 6.3	△ 35.9	14.1	21.9	△ 12.5	▼ 4.7	★ 9.4	20.3
	清久地区	43	18.6	23.3	7.0	○ 32.6	△ 11.6	9.3	● 18.6	18.6
	菖蒲・三箇地区	147	● 2.7	31.3	4.8	15.6	6.1	● 0.0	☆ 55.8	15.6
	小林・栢間地区	62	★ 0.0	☆ 46.8	▼ 3.2	☆ 40.3	○ 14.5	▼ 1.6	★ 12.9	24.2
	栗橋・伊坂地区	150	12.7	25.3	8.0	20.7	4.0	8.7	31.3	22.0
	静・豊田地区	103	▼ 7.8	△ 32.0	6.8	▼ 10.7	1.9	▼ 5.8	▼ 21.4	23.3
	鷲宮地区	207	19.8	22.2	9.7	17.4	2.4	10.1	▼ 20.8	26.6
	桜田地区	199	▼ 11.1	▼ 19.6	9.5	● 6.5	2.0	14.1	☆ 46.2	13.1
年齢	18～29 歳	160	20.0	★ 11.3	7.5	● 5.6	1.3	13.1	△ 36.3	20.0
	30 歳代	207	14.5	▼ 21.7	5.8	▼ 10.1	1.0	8.2	○ 40.6	16.9
	40 歳代	208	17.8	▼ 21.2	6.3	13.0	2.4	13.0	△ 34.1	21.6
	50 歳代	310	16.8	28.7	8.4	19.4	7.4	12.3	31.9	13.9
	60 歳代	384	17.4	△ 36.2	11.5	△ 24.2	4.7	11.5	25.3	17.7
	70 歳代	213	21.6	31.5	11.7	△ 24.9	5.2	8.5	● 16.0	25.4
	80 歳以上	57	▼ 8.8	26.3	14.0	22.8	7.0	▼ 5.3	★ 8.8	36.8

（２）今後市に力を入れてほしいこと

居住地域の生活環境について、今後市に力を入れてほしいものとしては、「救急医療体制・利用施設の整備状況」（39.5%）が最も多く、４割弱を占めている。また、最も力を入れてほしい割合も２割と多い。ついで、「街灯などの防犯施設」（26.6%）、「水害・地震等の災害に対する安全性」（21.4%）が２割台となっている。

（2）問22の項目の中（1～16）から、今後、久喜市に力を入れてほしいものを3つまで選んで、次の欄にその番号を記入してください。
※ その中で、最も力を入れてほしいものは一番左の欄に記入してください。



≪居住地区、年齢別　今後市に力を入れてほしいこと≫

居住地区別にみると、「交通の利便性（鉄道・バスなど）」は菖蒲・三箇地区と小林・栢間地区で、「通勤・通学の利便性」と「買い物の利便性」は小林・栢間地区で多くなっている。全体で最も多かった「救急医療体制・医療施設の整備状況」については、太田地区と菖蒲・三箇地区で５割弱とやや多い。

年齢別では、18～29 歳で「景観・街並みの美しさ」「街灯などの防犯施設」「通勤・通学の利便性」「買い物の利便性」、30 歳代では「公園や広場などの身近な公共空間」「交通の安全性（ガードレール・信号など）」をあげる人がやや多い。

(%)

		n	公園や広場などの身近な公共空間	家の前など身近な生活道路	景観・街並みの美しさ	緑や水辺など自然環境の豊かさ	災害時の避難場所や避難路	水害・地震等の災害に対する安全性	消防施設の整備状況（防火水槽、消火栓など）	救急医療体制・医療施設の整備状況	交通の安全性（ガードレール・信号など）
全体		1,566	14.4	12.9	11.4	13.2	14.9	21.4	5.9	39.5	16.9
居住地区	本町地区	136	△ 24.3	16.2	△ 17.6	△ 20.6	15.4	22.1	5.9	41.9	16.9
	中央・南地区	69	○ 29.0	○ 27.5	15.9	○ 26.1	△ 20.3	▼ 14.5	5.8	34.8	17.4
	東地区	117	14.5	12.8	16.2	△ 18.8	△ 20.5	23.1	4.3	43.6	△ 25.6
	太田地区	253	13.0	10.7	9.5	13.0	15.4	25.7	6.7	△ 46.2	14.6
	江面地区	64	▼ 9.4	○ 25.0	12.5	▼ 4.7	▼ 9.4	▼ 15.6	3.1	▼ 29.7	17.2
	清久地区	43	14.0	△ 20.9	7.0	▼ 7.0	16.3	▼ 14.0	7.0	● 25.6	△ 25.6
	菖蒲・三箇地区	147	▼ 6.8	▼ 6.1	▼ 6.1	▼ 4.1	▼ 8.8	● 8.8	5.4	△ 46.3	▼ 10.9
	小林・栢間地区	62	11.3	▼ 4.8	6.5	● 3.2	▼ 6.5	● 8.1	3.2	37.1	▼ 11.3
	栗橋・伊坂地区	150	△ 22.0	10.0	13.3	16.0	18.0	25.3	5.3	42.7	14.7
	静・豊田地区	103	11.7	11.7	6.8	9.7	15.5	26.2	5.8	35.9	13.6
	鷲宮地区	207	15.5	14.5	10.6	△ 18.4	12.6	△ 26.6	6.3	▼ 31.4	20.8
	桜田地区	199	▼ 8.5	11.6	14.1	9.5	18.1	23.6	8.0	40.7	19.6
年齢	18～29 歳	160	15.6	8.8	△ 18.1	11.3	10.0	17.5	5.0	▼ 33.1	17.5
	30 歳代	207	△ 19.8	9.2	11.6	12.1	14.0	19.3	3.4	37.7	△ 24.6
	40 歳代	208	16.8	17.3	13.5	12.5	11.5	17.3	3.4	44.2	20.7
	50 歳代	310	12.3	13.9	11.3	11.6	19.7	24.2	6.8	43.2	18.4
	60 歳代	384	14.8	13.3	9.1	17.7	13.8	24.5	8.3	41.1	13.5
	70 歳代	213	10.8	16.0	10.3	10.3	18.8	23.0	6.1	34.7	▼ 11.3
	80 歳以上	57	▼ 7.0	▼ 5.3	7.0	14.0	12.3	▼ 14.0	7.0	35.1	12.3

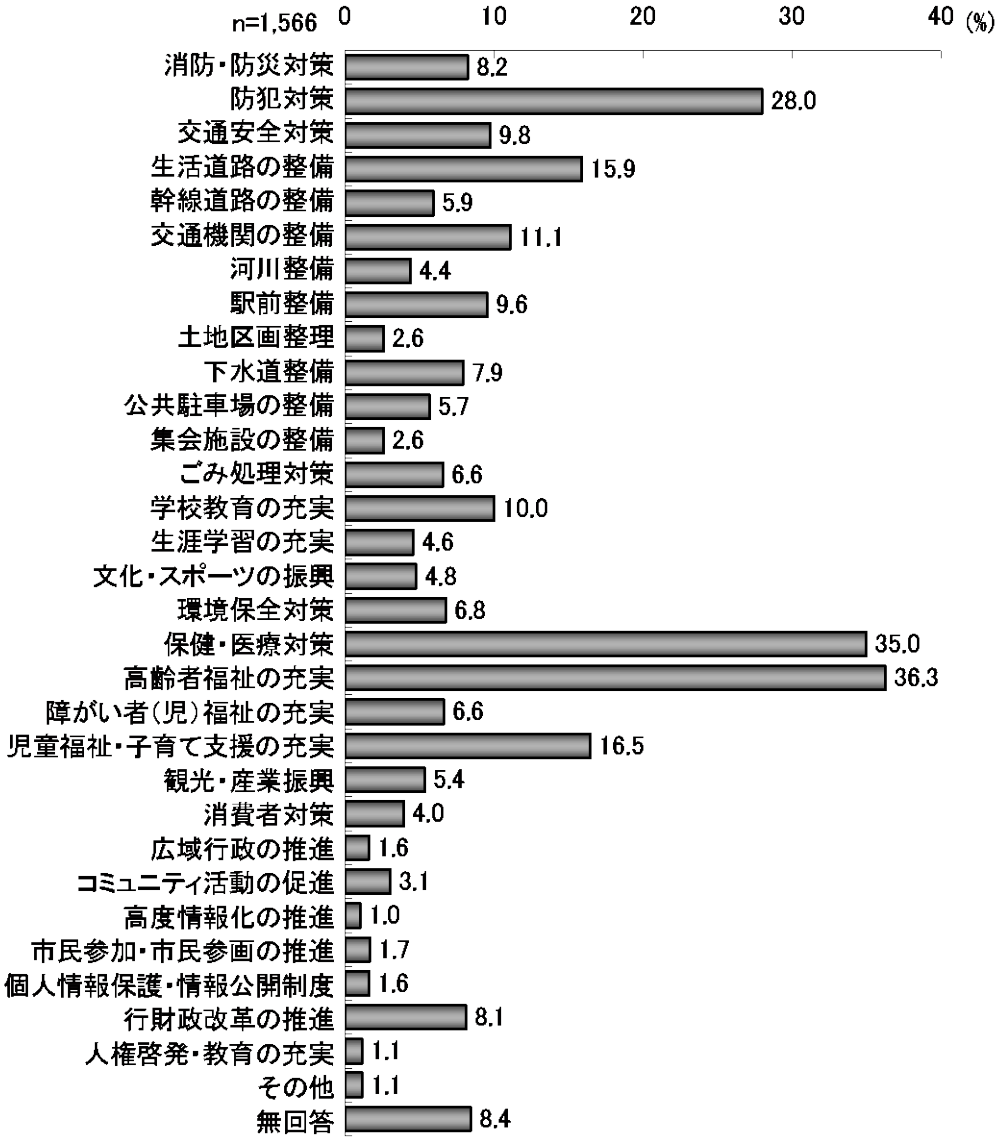
		n	交通の利便性（鉄道・バスなど）	ごみの収集・処理の状況	街灯などの防犯施設	下水道の整備状況	生活排水路や農業用排水路	通勤・通学の利便性	買い物の利便性	無回答
全体		1,566	19.1	7.0	26.6	9.8	7.8	8.7	13.5	10.6
居住地区	本町地区	136	▼ 12.5	5.9	24.3	5.1	3.7	▼ 3.7	10.3	11.0
	中央・南地区	69	● 7.2	10.1	▼ 18.8	▼ 2.9	2.9	4.3	14.5	8.7
	東地区	117	▼ 13.7	5.1	23.1	6.8	4.3	▼ 3.4	12.0	9.4
	太田地区	253	● 9.1	10.7	25.3	7.5	5.9	4.3	15.4	12.6
	江面地区	64	18.8	6.3	25.0	△ 15.6	○ 20.3	12.5	○ 28.1	12.5
	清久地区	43	▼ 11.6	△ 14.0	27.9	7.0	▼ 2.3	4.7	9.3	16.3
	菖蒲・三箇地区	147	☆ 51.0	5.4	26.5	△ 15.6	8.2	○ 23.1	▼ 6.1	11.6
	小林・栢間地区	62	☆ 40.3	3.2	▼ 19.4	8.1	9.7	☆ 27.4	☆ 30.6	12.9
	栗橋・伊坂地区	150	▼ 12.0	6.0	△ 34.0	14.0	6.0	7.3	10.7	7.3
	静・豊田地区	103	21.4	5.8	24.3	△ 16.5	△ 15.5	10.7	△ 20.4	6.8
	鷲宮地区	207	17.4	5.8	26.6	8.2	6.8	5.8	14.5	10.6
	桜田地区	199	21.6	7.0	△ 34.2	10.1	11.1	7.5	▼ 8.5	6.5
年齢	18～29 歳	160	20.0	6.3	△ 33.1	5.6	3.8	△ 15.0	△ 18.8	8.1
	30 歳代	207	22.7	8.2	30.9	9.7	7.2	12.6	13.0	4.8
	40 歳代	208	19.2	7.2	31.3	7.7	6.3	12.0	16.8	5.3
	50 歳代	310	20.3	7.7	28.1	10.6	8.1	8.4	10.0	5.8
	60 歳代	384	18.5	9.1	24.2	13.0	10.4	4.4	13.0	12.0
	70 歳代	213	16.4	2.8	▼ 21.6	9.4	9.4	5.2	13.1	17.8
	80 歳以上	57	▼ 14.0	▼ 0.0	★ 8.8	7.0	5.3	10.5	12.3	33.3

11．都市づくりについて

11-1．市政全般において充実してほしいもの

市政全般において充実してほしいものとしては、「高齢者福祉の充実」（36.3%）、「保健・医療対策」（35.0%）、「防犯対策」（28.0%）の３つが上位にあげられている。

問 24　あなたは、市政全般において、次の中で何を充実してほしいと思いますか。充実してほしいものを3つまで選んで○印をつけてください。



≪居住地区、年齢別　市政全般において充実してほしいもの（上位１２項目）≫

居住地区別にみると、「交通機関の整備」は菖蒲・三箇地区と小林・栢間地区で３割と多い。

年齢別では、「高齢者福祉の充実」は 60 歳以上、「児童福祉・子育て支援の充実」は 30 歳代で特に多くなっている。

(%)

		n	高齢者福祉の充実	保健・医療対策	防犯対策	児童福祉・子育て支援の充実	生活道路の整備	交通機関の整備
全体		1,566	36.3	35.0	28.0	16.5	15.9	11.1
居住地区	本町地区	136	33.8	33.1	28.7	18.4	18.4	▼ 5.9
	中央・南地区	69	39.1	▼ 29.0	29.0	△ 21.7	△ 23.2	▼ 1.4
	東地区	117	38.5	32.5	29.1	19.7	17.1	▼ 6.0
	太田地区	253	38.3	△ 40.3	29.2	19.4	14.6	▼ 5.9
	江面地区	64	37.5	★ 15.6	▼ 21.9	14.1	○ 29.7	▼ 4.7
	清久地区	43	○ 48.8	37.2	27.9	14.0	○ 27.9	9.3
	菖蒲・三箇地区	147	34.7	39.5	25.9	12.2	14.3	☆ 30.6
	小林・栢間地区	62	35.5	30.6	● 17.7	▼ 8.1	16.1	☆ 30.6
	栗橋・伊坂地区	150	34.7	38.0	25.3	18.7	12.7	8.7
	静・豊田地区	103	33.0	34.0	32.0	11.7	17.5	13.6
	鷲宮地区	207	34.3	34.3	28.5	14.5	16.9	10.6
	桜田地区	199	38.2	37.7	△ 33.2	18.6	▼ 7.5	10.1
年齢	18～29 歳	160	★ 19.4	34.4	29.4	△ 24.4	13.8	13.1
	30 歳代	207	★ 18.8	35.7	△ 34.3	☆ 44.4	14.5	12.1
	40 歳代	208	● 24.0	36.5	△ 34.1	20.2	13.9	15.4
	50 歳代	310	36.1	35.2	25.2	▼ 9.7	△ 23.5	11.0
	60 歳代	384	○ 49.2	36.2	26.8	▼ 9.6	15.1	9.6
	70 歳代	213	☆ 51.6	31.5	23.9	● 6.1	12.2	8.5
	80 歳以上	57	○ 47.4	35.1	24.6	● 5.3	19.3	8.8

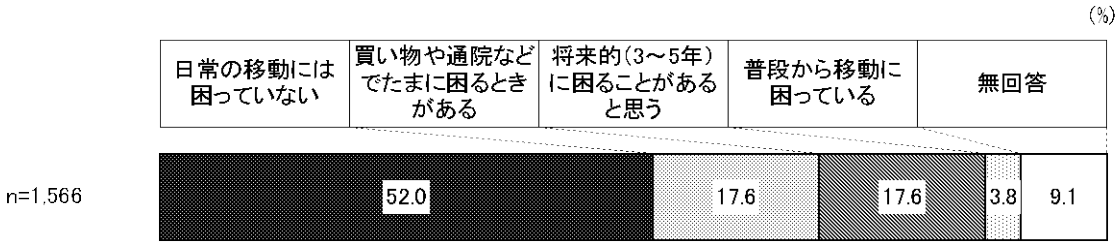
		n	学校教育の充実	交通安全対策	駅前整備	消防・防災対策	行財政改革の推進	下水道整備
全体		1,566	10.0	9.8	9.6	8.2	8.1	7.9
居住地区	本町地区	136	11.0	11.8	10.3	7.4	8.8	▼ 2.9
	中央・南地区	69	8.7	11.6	13.0	7.2	7.2	▼ 1.4
	東地区	117	△ 15.4	14.5	10.3	7.7	6.0	6.0
	太田地区	253	10.7	10.3	6.7	8.7	8.3	6.7
	江面地区	64	9.4	12.5	4.7	9.4	7.8	△ 14.1
	清久地区	43	▼ 2.3	7.0	4.7	▼ 0.0	11.6	9.3
	菖蒲・三箇地区	147	△ 15.0	6.1	▼ 2.7	9.5	6.1	△ 13.6
	小林・栢間地区	62	8.1	14.5	▼ 1.6	4.8	3.2	3.2
	栗橋・伊坂地区	150	8.7	7.3	△ 16.7	9.3	7.3	11.3
	静・豊田地区	103	7.8	8.7	△ 14.6	7.8	5.8	△ 14.6
	鷲宮地区	207	8.2	10.6	7.7	10.1	9.2	4.8
	桜田地区	199	9.5	7.0	△ 15.6	8.0	11.6	8.5
年齢	18～29 歳	160	7.5	△ 15.0	△ 15.6	12.5	5.0	5.0
	30 歳代	207	△ 19.3	10.1	10.1	4.8	▼ 1.9	9.2
	40 歳代	208	△ 18.3	13.0	13.0	9.1	4.3	5.8
	50 歳代	310	6.8	6.5	10.3	8.4	9.4	7.7
	60 歳代	384	7.0	10.2	6.3	8.3	△ 13.3	10.7
	70 歳代	213	8.0	7.0	6.6	6.1	8.5	8.0
	80 歳以上	57	● 0.0	8.8	5.3	△ 14.0	3.5	5.3

12. 公共交通について

12-1. 日常生活の移動のしやすさ

日常生活における移動のしやすさについて、「日常の移動には困っていない」（52.0%）とする人が半数を占めている。「買い物や通院などでたまに困るときがある」（17.6%）や「将来的（3～5 年）に困ることがあると思う」（17.6%）とする人はそれぞれ２割弱となっている。

問 27 あなたの日常生活における移動のしやすさについておたずねします。次の中からあてはまるもの1つ選んで○印をしてください。



≪居住地区、年齢別　日常生活の移動のしやすさ≫

居住地区別にみると、「買い物や通院などでたまに困るときがある」は小林・栢間地区と静・豊田地区でやや多く、４人に１人の割合となっている。「将来的（3～5 年）に困ることがあると思う」との回答は、江面地区、清久地区、菖蒲・三箇地区、小林・栢間地区で 25%前後とやや多い。

年齢別では、50 歳代以下では「日常の移動には困っていない」との回答が６割前後と多いが、70 歳以上では３割未満と少ない。80 歳以上では「買い物や通院などでたまに困るときがある」が４割弱、70 歳代では「将来的（3～5 年）に困ることがあると思う」が３割弱と多くなっている。

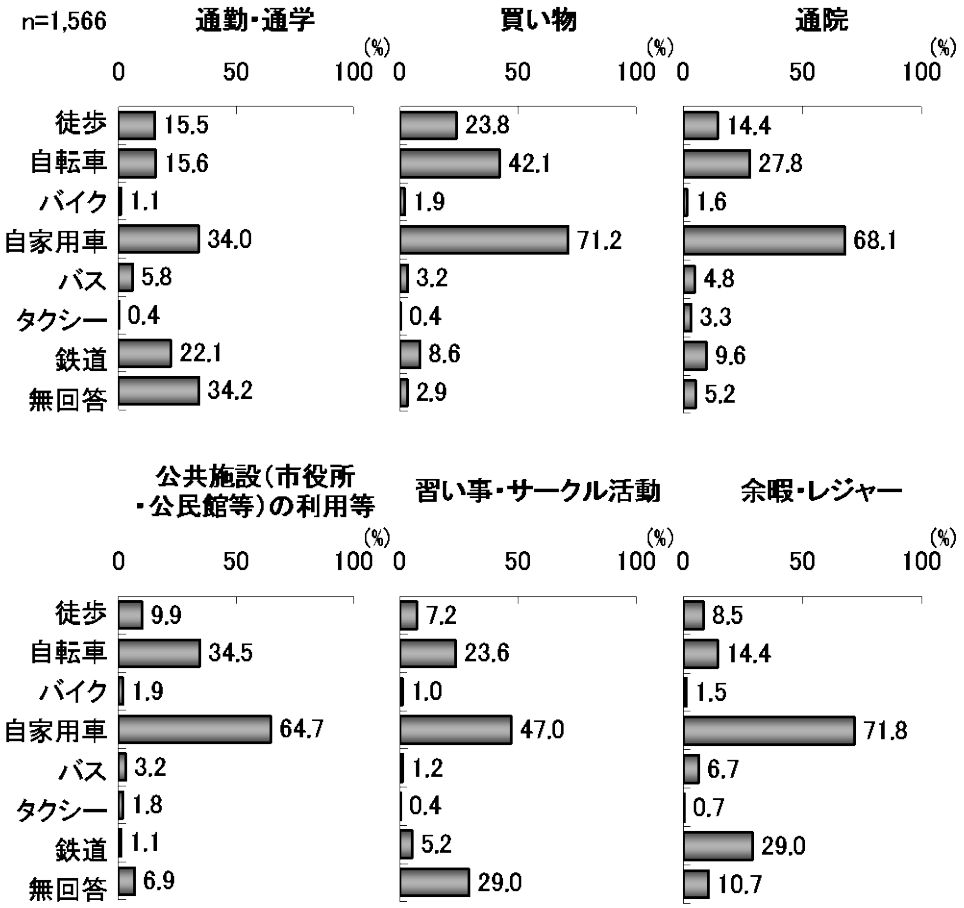
(%)

		n	日常の移動には困っていない	買い物や通院などでたまに困るときがある	将来的(3～5年)に困ることがあると思う	普段から移動に困っている	無回答
全体		1,566	52.0	17.6	17.6	3.8	9.1
居住地区	本町地区	136	○ 62.5	13.2	16.2	2.2	5.9
	中央・南地区	69	○ 65.2	17.4	▼ 10.1	0.0	7.2
	東地区	117	△ 58.1	▼ 12.0	18.8	2.6	8.5
	太田地区	253	56.9	18.6	13.0	2.0	9.5
	江面地区	64	★ 34.4	20.3	△ 23.4	6.3	15.6
	清久地区	43	● 37.2	20.9	○ 27.9	2.3	11.6
	菖蒲・三箇地区	147	★ 36.7	19.7	△ 23.1	△ 10.9	9.5
	小林・栢間地区	62	★ 29.0	△ 25.8	△ 24.2	8.1	12.9
	栗橋・伊坂地区	150	51.3	16.7	20.7	3.3	8.0
	静・豊田地区	103	▼ 42.7	△ 25.2	19.4	6.8	5.8
	鷲宮地区	207	54.6	16.4	18.8	2.9	7.2
	桜田地区	199	○ 63.3	14.6	▼ 11.6	1.5	9.0
年齢	18～29 歳	160	○ 62.5	20.0	● 6.9	△ 8.8	1.9
	30 歳代	207	△ 57.5	△ 24.2	▼ 8.2	2.4	7.7
	40 歳代	208	○ 65.4	16.8	▼ 9.1	4.8	3.8
	50 歳代	310	△ 60.3	13.2	16.1	2.6	7.7
	60 歳代	384	48.4	▼ 12.0	△ 27.3	2.6	9.6
	70 歳代	213	★ 29.1	19.7	○ 29.6	3.8	17.8
	80 歳以上	57	★ 22.8	☆ 38.6	15.8	5.3	17.5

12-2. 日常生活の移動手段

日常的な移動手段について、どの場面でも「自家用車」での移動が最も多くなっている。ついで、「自転車」や「徒歩」が多くなっているが、通勤・通学や余暇・レジャーでは「鉄道」を使う人が２割台と多くなっている。

問 28　あなたの日常的な移動についておたずねします。次の 1～6 の各目的で移動する場合の交通手段を、あてはまるものすべてに○印をつけてください。



≪居住地区、年齢別　日常生活の移動手段≫

居住地区別にみても、各地区とも通勤・通学を除いてはどの場面でも「自家用車」での移動が最も多くなっている。

年齢別にみると、30～50 歳代は「自家用車」での移動が中心となっている。

通勤・通学　(%)

		n	徒歩	自転車	バイク	自家用車	バス	タクシー	鉄道	無回答
全体		1,566	15.5	15.6	1.1	34.0	5.8	0.4	22.1	34.2
居住地区	本町地区	136	15.4	○ 27.9	0.0	30.9	5.9	0.0	▼ 15.4	35.3
	中央・南地区	69	△ 24.6	▼ 7.2	0.0	★ 13.0	▼ 0.0	1.4	○ 34.8	39.1
	東地区	117	△ 23.9	17.9	0.0	▼ 26.5	8.5	0.0	23.9	36.8
	太田地区	253	17.8	17.4	0.8	30.8	10.3	0.0	20.6	34.8
	江面地区	64	10.9	○ 29.7	△ 6.3	△ 43.8	6.3	4.7	● 10.9	34.4
	清久地区	43	▼ 9.3	▼ 9.3	0.0	○ 46.5	9.3	0.0	● 9.3	41.9
	菖蒲・三箇地区	147	▼ 6.8	▼ 7.5	2.0	○ 48.3	△ 14.3	0.7	● 10.9	33.3
	小林・栢間地区	62	▼ 9.7	11.3	0.0	☆ 51.6	9.7	0.0	▼ 16.1	33.9
	栗橋・伊坂地区	150	16.0	14.7	0.7	32.7	2.0	0.0	△ 29.3	33.3
	静・豊田地区	103	15.5	▼ 9.7	1.9	△ 40.8	1.0	0.0	26.2	28.2
	鷲宮地区	207	11.6	16.9	1.9	34.8	1.9	0.5	20.8	34.8
	桜田地区	199	19.6	13.6	1.0	▼ 27.6	1.0	0.0	○ 33.7	29.6
年齢	18～29 歳	160	☆ 31.3	☆ 31.3	3.1	36.3	△ 11.9	0.6	☆ 51.9	5.6
	30 歳代	207	△ 21.7	18.4	1.0	☆ 50.2	2.9	0.0	24.6	11.6
	40 歳代	208	17.8	15.9	1.9	☆ 49.0	8.2	0.0	△ 28.4	13.0
	50 歳代	310	15.8	18.4	0.6	○ 48.7	6.5	0.6	21.9	21.3
	60 歳代	384	12.2	12.0	1.3	● 23.7	5.2	0.5	▼ 16.1	49.7
	70 歳代	213	● 5.2	▼ 7.5	0.0	★ 8.0	2.8	0.5	● 8.9	72.3
	80 歳以上	57	★ 0.0	● 1.8	0.0	★ 7.0	5.3	0.0	★ 0.0	86.0

買い物　(%)

		n	徒歩	自転車	バイク	自家用車	バス	タクシー	鉄道	無回答
全体		1,566	23.8	42.1	1.9	71.2	3.2	0.4	8.6	2.9
居住地区	本町地区	136	△ 30.9	○ 56.6	0.0	▼ 61.8	5.1	0.7	6.6	2.2
	中央・南地区	69	☆ 40.6	○ 55.1	1.4	● 58.0	2.9	1.4	11.6	0.0
	東地区	117	○ 35.0	○ 53.8	0.9	72.6	2.6	0.0	9.4	1.7
	太田地区	253	24.5	△ 51.4	0.4	69.6	5.5	0.4	7.9	0.8
	江面地区	64	★ 4.7	● 31.3	△ 7.8	△ 76.6	3.1	1.6	6.3	3.1
	清久地区	43	★ 2.3	★ 18.6	0.0	☆ 90.7	△ 9.3	0.0	▼ 0.0	2.3
	菖蒲・三箇地区	147	● 12.2	▼ 35.4	4.1	73.5	3.4	0.7	▼ 3.4	5.4
	小林・栢間地区	62	★ 1.6	★ 14.5	3.2	○ 85.5	△ 12.9	0.0	8.1	4.8
	栗橋・伊坂地区	150	24.7	38.0	0.7	76.0	0.0	0.0	10.7	3.3
	静・豊田地区	103	★ 2.9	★ 20.4	2.9	○ 85.4	1.0	0.0	9.7	4.9
	鷲宮地区	207	19.3	44.4	2.9	▼ 65.2	0.0	0.5	8.7	4.3
	桜田地区	199	☆ 46.7	43.7	1.5	68.8	1.0	0.0	△ 14.6	0.5
年齢	18～29 歳	160	27.5	46.3	3.1	73.8	3.1	0.6	○ 21.3	0.6
	30 歳代	207	21.7	▼ 36.2	1.4	○ 83.1	1.9	0.0	4.8	1.4
	40 歳代	208	24.5	37.5	1.4	○ 82.2	3.8	0.0	9.6	0.0
	50 歳代	310	22.9	▼ 36.8	1.6	△ 80.3	3.2	0.3	8.1	0.0
	60 歳代	384	23.4	△ 50.0	2.6	69.0	2.9	0.5	8.3	1.8
	70 歳代	213	24.9	46.9	1.4	★ 48.8	2.3	0.5	5.2	8.5
	80 歳以上	57	22.8	● 28.1	0.0	★ 42.1	7.0	1.8	▼ 3.5	21.1

通院

(%)

		n	徒歩	自転車	バイク	自家用車	バス	タクシー	鉄道	無回答
全体		1,566	14.4	27.8	1.6	68.1	4.8	3.3	9.6	5.2
居住地区	本町地区	136	△ 21.3	☆ 47.8	0.0	▼ 58.8	2.9	3.7	9.6	2.9
	中央・南地区	69	○ 27.5	31.9	0.0	★ 50.7	0.0	5.8	△ 15.9	10.1
	東地区	117	○ 28.2	△ 36.8	0.9	▼ 59.8	2.6	0.9	11.1	6.8
	太田地区	253	14.2	30.0	0.4	67.6	9.1	4.3	8.7	3.6
	江面地区	64	● 3.1	26.6	△ 7.8	△ 76.6	3.1	3.1	6.3	3.1
	清久地区	43	● 2.3	★ 11.6	0.0	☆ 88.4	△ 11.6	2.3	9.3	7.0
	菖蒲・三箇地区	147	● 4.1	★ 11.6	2.7	○ 78.2	△ 13.6	3.4	▼ 3.4	5.4
	小林・栢間地区	62	● 3.2	● 17.7	3.2	△ 77.4	△ 14.5	1.6	11.3	4.8
	栗橋・伊坂地区	150	10.7	26.7	0.7	71.3	0.0	2.7	9.3	5.3
	静・豊田地区	103	▼ 5.8	★ 11.7	1.9	☆ 83.5	0.0	1.0	9.7	3.9
	鷲宮地区	207	11.6	32.4	1.9	64.7	2.4	3.4	10.6	6.3
	桜田地区	199	○ 25.6	28.1	2.0	64.3	1.5	5.0	12.6	3.5
年齢	18～29 歳	160	12.5	28.1	3.8	70.0	3.1	1.3	8.1	4.4
	30 歳代	207	▼ 9.2	▼ 19.8	0.5	○ 79.7	3.9	1.4	7.2	1.9
	40 歳代	208	12.5	23.6	1.4	○ 81.3	4.8	2.4	8.7	1.9
	50 歳代	310	16.5	23.2	1.0	△ 76.8	3.5	1.6	8.7	3.2
	60 歳代	384	17.7	△ 35.4	2.1	▼ 61.7	4.4	3.9	12.0	4.9
	70 歳代	213	16.0	△ 36.2	1.4	★ 50.2	6.6	5.6	13.6	10.3
	80 歳以上	57	12.3	▼ 21.1	0.0	★ 43.9	△ 14.0	○ 15.8	▼ 1.8	14.0

公共施設（市役所・公民館等）の利用等

(%)

		n	徒歩	自転車	バイク	自家用車	バス	タクシー	鉄道	無回答
全体		1,566	9.9	34.5	1.9	64.7	3.2	1.8	1.1	6.9
居住地区	本町地区	136	△ 18.4	○ 47.8	0.0	● 54.4	2.2	0.7	0.0	6.6
	中央・南地区	69	☆ 33.3	☆ 50.7	1.4	★ 42.0	2.9	1.4	1.4	2.9
	東地区	117	12.8	36.8	0.9	61.5	6.0	0.0	0.0	6.8
	太田地区	253	6.3	36.4	0.4	66.0	△ 8.3	3.2	0.0	5.9
	江面地区	64	9.4	△ 40.6	△ 7.8	60.9	3.1	3.1	1.6	6.3
	清久地区	43	7.0	● 20.9	0.0	△ 74.4	△ 11.6	2.3	0.0	11.6
	菖蒲・三箇地区	147	7.5	30.6	3.4	65.3	2.7	1.4	0.0	10.2
	小林・栢間地区	62	▼ 1.6	★ 19.4	3.2	○ 77.4	3.2	0.0	0.0	6.5
	栗橋・伊坂地区	150	9.3	36.0	1.3	60.0	0.7	0.7	2.7	8.7
	静・豊田地区	103	▼ 3.9	★ 18.4	2.9	☆ 84.5	0.0	1.9	1.0	4.9
	鷲宮地区	207	▼ 4.3	35.3	1.9	61.8	1.0	1.9	1.4	8.2
	桜田地区	199	13.6	31.2	2.0	△ 73.4	0.5	3.0	3.0	2.5
年齢	18～29 歳	160	6.9	38.8	4.4	67.5	2.5	0.6	1.3	1.9
	30 歳代	207	8.2	▼ 28.5	1.4	☆ 79.7	1.4	0.5	0.5	3.4
	40 歳代	208	9.1	32.2	1.4	○ 79.3	3.4	1.9	0.0	1.0
	50 歳代	310	11.6	▼ 28.4	1.0	○ 77.4	1.9	0.6	0.6	2.3
	60 歳代	384	11.5	△ 41.9	2.3	▼ 59.4	3.4	1.0	1.8	5.5
	70 歳代	213	10.3	39.0	1.4	★ 38.5	4.7	5.2	1.9	17.8
	80 歳以上	57	7.0	★ 19.3	0.0	★ 29.8	△ 12.3	△ 7.0	0.0	38.6

習い事・サークル活動

(%)

		n	徒歩	自転車	バイク	自家用車	バス	タクシー	鉄道	無回答
全体		1,566	7.2	23.6	1.0	47.0	1.2	0.4	5.2	29.0
居住地区	本町地区	136	8.1	○ 38.2	0.0	42.6	0.7	0.0	5.1	26.5
	中央・南地区	69	○ 21.7	27.5	0.0	★ 27.5	1.4	0.0	10.1	30.4
	東地区	117	△ 15.4	△ 33.3	0.9	▼ 38.5	2.6	0.0	9.4	29.9
	太田地区	253	7.1	27.3	0.0	43.9	2.4	0.0	4.0	31.2
	江面地区	64	▼ 1.6	△ 29.7	△ 7.8	50.0	1.6	1.6	1.6	28.1
	清久地区	43	4.7	● 9.3	0.0	○ 58.1	4.7	0.0	▼ 0.0	37.2
	菖蒲・三箇地区	147	▼ 2.0	▼ 17.7	2.0	△ 56.5	1.4	0.0	0.7	26.5
	小林・栢間地区	62	▼ 0.0	● 9.7	0.0	○ 61.3	0.0	1.6	▼ 0.0	30.6
	栗橋・伊坂地区	150	7.3	22.0	0.7	46.0	0.0	0.0	4.7	32.0
	静・豊田地区	103	3.9	★ 5.8	0.0	☆ 62.1	0.0	1.0	7.8	25.2
	鷲宮地区	207	3.4	24.2	1.0	44.0	0.5	1.0	5.3	30.9
	桜田地区	199	11.1	21.6	1.0	48.2	0.5	0.5	9.0	23.1
年齢	18～29 歳	160	8.1	○ 34.4	2.5	50.0	1.3	0.0	9.4	16.3
	30 歳代	207	4.3	▼ 16.9	0.5	☆ 62.3	1.0	0.5	6.3	21.7
	40 歳代	208	7.2	▼ 15.4	0.5	○ 60.6	1.4	0.0	5.3	21.6
	50 歳代	310	8.1	▼ 16.8	0.3	○ 61.0	0.3	0.0	3.9	22.9
	60 歳代	384	7.6	△ 29.9	1.6	▼ 39.3	1.8	0.3	5.7	31.0
	70 歳代	213	8.0	△ 31.5	0.5	★ 20.2	0.5	1.4	2.3	46.9
	80 歳以上	57	8.8	● 12.3	0.0	★ 19.3	3.5	1.8	1.8	61.4

余暇・レジャー

(%)

		n	徒歩	自転車	バイク	自家用車	バス	タクシー	鉄道	無回答
全体		1,566	8.5	14.4	1.5	71.8	6.7	0.7	29.0	10.7
居住地区	本町地区	136	12.5	△ 22.1	0.7	▼ 65.4	9.6	1.5	30.9	11.8
	中央・南地区	69	○ 18.8	14.5	2.9	69.6	5.8	0.0	△ 37.7	11.6
	東地区	117	○ 18.8	△ 20.5	0.0	68.4	8.5	0.9	33.3	6.8
	太田地区	253	7.9	16.6	0.4	70.8	10.7	0.8	31.2	10.3
	江面地区	64	4.7	△ 23.4	4.7	73.4	6.3	1.6	● 17.2	7.8
	清久地区	43	4.7	▼ 4.7	0.0	76.7	△ 14.0	0.0	▼ 20.9	14.0
	菖蒲・三箇地区	147	4.1	▼ 6.8	2.7	△ 78.2	△ 13.6	0.0	● 17.0	11.6
	小林・栢間地区	62	▼ 1.6	▼ 8.1	3.2	75.8	△ 12.9	1.6	● 17.7	12.9
	栗橋・伊坂地区	150	11.3	13.3	0.7	72.7	2.0	0.0	31.3	12.0
	静・豊田地区	103	3.9	▼ 5.8	1.0	○ 83.5	▼ 1.0	0.0	28.2	5.8
	鷲宮地区	207	4.3	14.0	1.4	67.6	▼ 1.0	1.0	▼ 23.2	13.0
	桜田地区	199	9.5	16.1	2.0	72.9	2.0	1.0	○ 43.7	8.0
年齢	18～29 歳	160	△ 13.8	○ 27.5	3.1	71.9	5.0	0.0	○ 43.1	2.5
	30 歳代	207	5.8	▼ 8.7	1.0	○ 85.0	3.4	1.0	29.0	6.8
	40 歳代	208	8.2	13.0	1.9	○ 85.1	5.8	0.5	33.2	1.9
	50 歳代	310	8.4	11.6	1.0	○ 84.2	7.1	0.3	29.4	4.5
	60 歳代	384	8.3	14.6	1.3	71.6	7.8	1.0	29.7	7.6
	70 歳代	213	8.5	17.4	1.4	★ 41.8	8.9	0.9	● 18.8	29.6
	80 歳以上	57	7.0	▼ 7.0	0.0	★ 36.8	7.0	1.8	★ 8.8	49.1

12-3. 市内のバス利用について

（１）路線バスについて

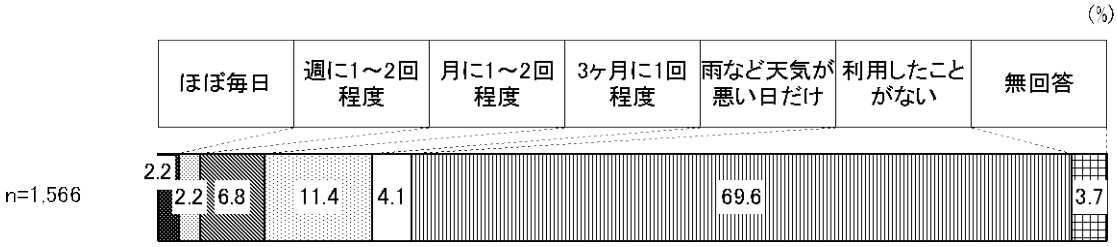
①利用経験

市内の路線バスを「利用したことがない」（69.6%）とする人は７割と多い。利用している頻度は、「3ヶ月に１回程度」が 11.4%と多い。

問 29 久喜市内のバス（民間の路線バス、市内循環バス（久喜区域）、福祉バス（鷲宮区域））の利用についてお聞かせください。

（1）路線バスについて

① 利用したことがありますか。あてはまるものを1つ選んで○印を付けてください。



≪居住地区、年齢別 利用経験≫

居住地区別にみると、栗橋・伊坂地区から桜田地区では「利用したことがない」とする人が９割前後と多数を占めている。

年齢別では、30～40 歳代では「利用したことがない」とする人が４人に３人とやや多い。

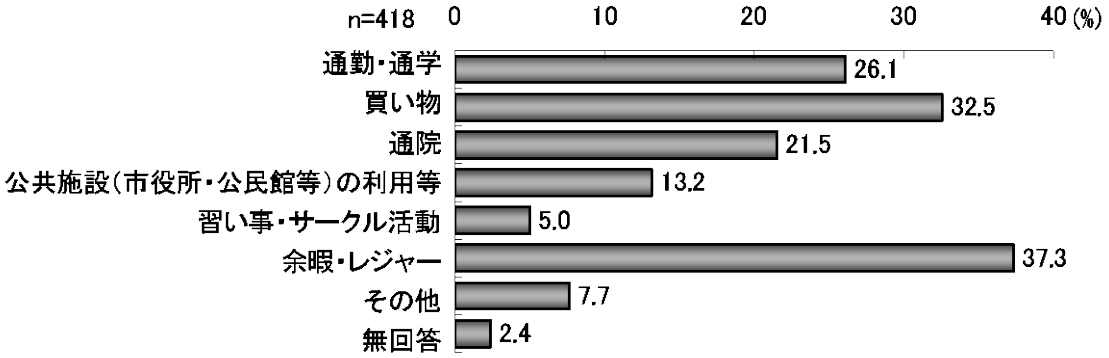
(%)

		n	ほぼ毎日	週に1～2回程度	月に1～2回程度	3ヶ月に1回程度	雨など天気が悪い日だけ	利用したことがない	無回答
全体		1,566	2.2	2.2	6.8	11.4	4.1	69.6	3.7
居住地区	本町地区	136	1.5	5.1	△ 12.5	16.2	8.8	★ 53.7	2.2
	中央・南地区	69	0.0	0.0	5.8	10.1	2.9	○ 81.2	0.0
	東地区	117	0.9	3.4	5.1	12.8	4.3	71.8	1.7
	太田地区	253	6.7	5.1	△ 11.9	△ 17.4	△ 9.9	★ 45.5	3.6
	江面地区	64	0.0	0.0	▼ 1.6	7.8	6.3	○ 79.7	4.7
	清久地区	43	4.7	4.7	△ 14.0	○ 23.3	7.0	★ 46.5	0.0
	菖蒲・三箇地区	147	4.8	2.0	○ 17.0	△ 20.4	1.4	★ 49.0	5.4
	小林・栢間地区	62	1.6	4.8	11.3	△ 21.0	3.2	★ 53.2	4.8
	栗橋・伊坂地区	150	0.7	0.7	▼ 1.3	● 0.7	2.0	☆ 88.0	6.7
	静・豊田地区	103	0.0	1.0	▼ 0.0	● 1.0	1.9	☆ 93.2	2.9
	鷲宮地区	207	1.0	0.0	2.4	7.2	1.9	☆ 85.0	2.4
	桜田地区	199	0.5	0.5	▼ 1.0	6.5	0.0	☆ 88.9	2.5
年齢	18～29 歳	160	6.3	0.6	6.9	10.6	5.6	68.8	1.3
	30 歳代	207	1.9	1.0	2.9	14.0	4.3	73.4	2.4
	40 歳代	208	2.9	1.4	2.9	13.9	1.4	△ 75.0	2.4
	50 歳代	310	1.0	1.9	6.8	13.5	5.2	70.0	1.6
	60 歳代	384	2.3	2.6	8.6	10.2	4.9	69.0	2.3
	70 歳代	213	0.0	5.6	9.9	8.5	2.8	▼ 64.3	8.9
	80 歳以上	57	3.5	1.8	△ 12.3	▼ 5.3	3.5	▼ 63.2	10.5

②利用目的

市内の路線バスを利用している人の利用目的は、「余暇・レジャー」(37.3%)、「買い物」(32.5%)、「通勤・通学」(26.1%)、「通院」(21.5%) の順で多くなっている。

②【①で 1～5 とお答えいただいた方におたずねします。】
主にどのようなときに利用していますか。あてはまるものすべてに○印を付けてください。



≪居住地区、年齢別　利用目的≫

居住地区別にみると、中央・南地区や東地区、桜田地区で「公共施設（市役所・公民館等）の利用等」が多くなっている。

年齢別では、18～29 歳は「通勤・通学」が５割強と多い。30 歳代は「買い物」や「公共施設（市役所・公民館等）の利用等」、40 歳代は「通勤・通学」や「余暇・レジャー」が多い。70 歳以上では「病院」をあげる人が多くなっている。

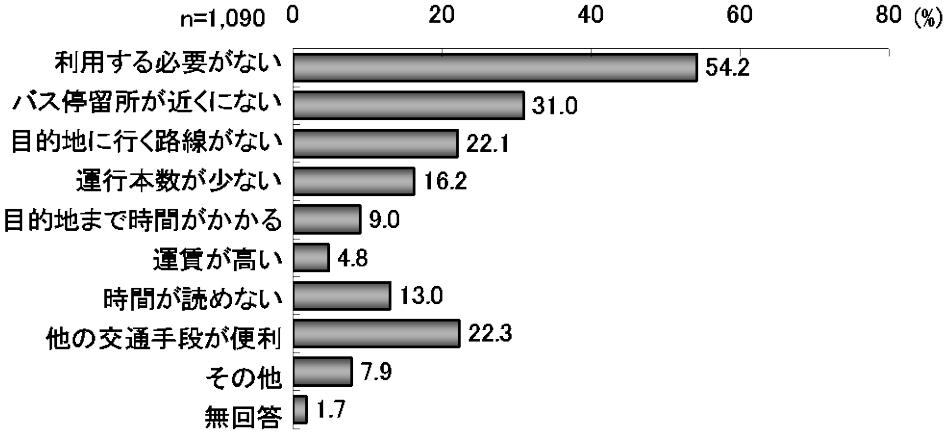
(%)

		n	通勤・通学	買い物	通院	公共施設（市役所・公民館等）の利用等	習い事・サークル活動	余暇・レジャー	その他	無回答
全体		418	26.1	32.5	21.5	13.2	5.0	37.3	7.7	2.4
居住地区	本町地区	60	30.0	△ 40.0	21.7	16.7	1.7	40.0	6.7	0.0
	中央・南地区	13	★ 0.0	△ 38.5	▼ 15.4	☆ 46.2	7.7	▼ 30.8	0.0	0.0
	東地区	31	● 12.9	35.5	▼ 16.1	☆ 29.0	6.5	△ 45.2	9.7	3.2
	太田地区	129	△ 31.8	30.2	20.2	14.7	7.8	38.0	10.1	3.9
	江面地区	10	30.0	30.0	20.0	10.0	▼ 0.0	▼ 30.0	10.0	0.0
	清久地区	23	▼ 17.4	△ 39.1	26.1	● 0.0	▼ 0.0	△ 43.5	8.7	0.0
	菖蒲・三箇地区	67	25.4	28.4	△ 26.9	▼ 4.5	7.5	○ 47.8	7.5	1.5
	小林・栢間地区	26	△ 34.6	34.6	23.1	▼ 3.8	▼ 0.0	34.6	7.7	0.0
	栗橋・伊坂地区	8	☆ 50.0	▼ 25.0	▼ 12.5	● 0.0	▼ 0.0	★ 12.5	0.0	12.5
	静・豊田地区	4	★ 0.0	▼ 25.0	☆ 50.0	● 0.0	☆ 25.0	● 25.0	0.0	0.0
	鷲宮地区	26	▼ 19.2	▼ 23.1	23.1	▼ 3.8	3.8	● 23.1	3.8	7.7
	桜田地区	17	● 11.8	△ 41.2	▼ 11.8	☆ 29.4	▼ 0.0	★ 11.8	5.9	0.0
年齢	18～29 歳	48	☆ 54.2	▼ 27.1	● 8.3	▼ 4.2	4.2	● 27.1	2.1	0.0
	30 歳代	50	26.0	△ 40.0	▼ 16.0	△ 20.0	2.0	36.0	10.0	4.0
	40 歳代	47	△ 34.0	29.8	▼ 14.9	8.5	8.5	☆ 55.3	4.3	0.0
	50 歳代	88	28.4	35.2	▼ 13.6	▼ 6.8	1.1	39.8	9.1	1.1
	60 歳代	110	23.6	30.0	25.5	16.4	6.4	37.3	9.1	2.7
	70 歳代	57	★ 5.3	35.1	☆ 36.8	15.8	8.8	▼ 31.6	7.0	7.0
	80 歳以上	15	★ 0.0	33.3	☆ 66.7	☆ 40.0	▼ 0.0	★ 20.0	6.7	0.0

③利用しない理由

市内の路線バスを利用しない理由は、「利用する必要がない」（54.2%）が最も多く、半数を超えているが、「バス停留所が近くにない」（31.0%）、「目的地に行く路線がない」（22.1%）とする人も２～３割みられる。

③【①で「6.利用したことがない」とお答えいただいた方におたずねします。】
利用しない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○印を付けてください。



≪居住地区、年齢別　利用しない理由≫

居住地区別にみると、「バス停留所が近くにない」は静・豊田地区で５割強と多い。

年齢別では、「利用する必要がない」との回答は 18～29 歳で６割強と多い。

(%)

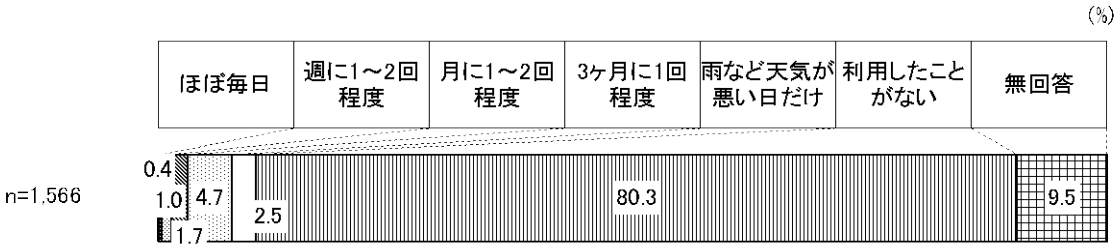
		n	利用する必要がない	バス停留所が近くにない	目的地に行く路線がない	運行本数が少ない	目的地まで時間がかかる	運賃が高い	時間が読めない	他の交通手段が便利	その他	無回答
全体		1,090	54.2	31.0	22.1	16.2	9.0	4.8	13.0	22.3	7.9	1.7
居住地区	本町地区	73	△ 63.0	27.4	▼ 15.1	20.5	12.3	2.7	16.4	17.8	0.0	0.0
	中央・南地区	56	○ 64.3	● 16.1	● 10.7	▼ 8.9	▼ 3.6	7.1	14.3	23.2	3.6	0.0
	東地区	84	○ 64.3	● 20.2	19.0	11.9	10.7	2.4	10.7	○ 34.5	4.8	2.4
	太田地区	115	57.4	● 20.9	17.4	20.9	12.2	3.5	11.3	▼ 16.5	7.8	2.6
	江面地区	51	▼ 45.1	35.3	25.5	17.6	△ 15.7	0.0	☆ 29.4	23.5	7.8	0.0
	清久地区	20	★ 25.0	△ 40.0	★ 0.0	○ 30.0	☆ 25.0	○ 15.0	△ 20.0	☆ 45.0	5.0	10.0
	菖蒲・三箇地区	72	● 41.7	▼ 25.0	22.2	△ 23.6	12.5	○ 19.4	△ 18.1	○ 34.7	9.7	0.0
	小林・栢間地区	33	● 42.4	33.3	○ 33.3	12.1	△ 15.2	○ 18.2	△ 21.2	△ 27.3	0.0	3.0
	栗橋・伊坂地区	132	50.8	33.3	23.5	12.1	6.8	5.3	10.6	△ 29.5	14.4	0.0
	静・豊田地区	96	★ 33.3	☆ 55.2	22.9	▼ 9.4	5.2	0.0	▼ 6.3	▼ 13.5	18.8	4.2
	鷲宮地区	176	△ 60.2	△ 36.9	23.9	16.5	5.1	2.8	13.1	17.6	6.3	1.7
	桜田地区	177	△ 61.6	28.8	△ 28.8	18.1	7.9	2.8	10.2	▼ 16.9	5.6	2.3
年齢	18～29 歳	110	△ 62.7	△ 39.1	▼ 16.4	20.0	9.1	6.4	16.4	24.5	7.3	0.0
	30 歳代	152	54.6	△ 36.8	17.8	15.1	10.5	6.6	16.4	△ 28.3	7.2	2.0
	40 歳代	156	57.1	34.0	26.3	17.9	12.8	7.1	12.8	23.1	5.8	1.3
	50 歳代	217	53.5	35.5	23.5	16.1	7.8	5.1	▼ 7.8	26.3	3.7	0.9
	60 歳代	265	57.0	▼ 26.0	20.4	15.1	6.8	3.0	14.7	17.4	10.6	1.9
	70 歳代	137	▼ 46.7	● 19.7	26.3	12.4	10.2	2.2	10.2	▼ 16.1	11.7	2.9
	80 歳以上	36	★ 27.8	▼ 22.2	△ 27.8	△ 25.0	5.6	2.8	16.7	25.0	13.9	5.6

（２）市内循環バス（久喜区域）について

①利用経験

市内循環バス（久喜区域）を「利用したことがない」（80.3%）とする人は８割と多い。利用している頻度は、「3 ヶ月に１回程度」が 4.7%とやや多い。

（2）市内循環バス（久喜区域）について
① 利用したことがありますか。あてはまるものを1つ選んで○印を付けてください。



≪居住地区、年齢別　利用経験≫

居住地区別にみると、本町地区や東地区では利用経験のある人が４人に１人強とやや多くなっている。

年齢による大きな差はみられず、利用経験のある人は１割前後となっている。

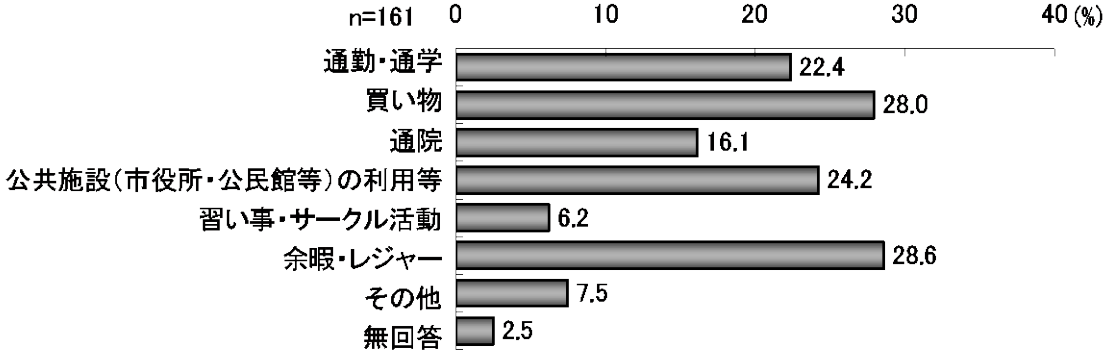
(%)

		n	ほぼ毎日	週に1～2回程度	月に1～2回程度	3ヶ月に1回程度	雨など天気が悪い日だけ	利用したことがない	無回答
全体		1,566	0.4	1.0	1.7	4.7	2.5	80.3	9.5
居住地区	本町地区	136	0.7	2.2	4.4	△ 11.8	6.6	● 69.9	4.4
	中央・南地区	69	0.0	1.4	1.4	8.7	0.0	84.1	4.3
	東地区	117	0.0	4.3	△ 6.8	△ 12.0	4.3	▼ 70.9	1.7
	太田地区	253	1.2	1.6	2.4	5.9	4.3	79.4	5.1
	江面地区	64	0.0	0.0	3.1	△ 10.9	△ 7.8	76.6	1.6
	清久地区	43	0.0	2.3	2.3	2.3	7.0	79.1	7.0
	菖蒲・三箇地区	147	0.7	0.0	0.7	2.7	0.0	▼ 72.8	23.1
	小林・栢間地区	62	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.4	22.6
	栗橋・伊坂地区	150	0.0	0.7	0.0	0.7	0.7	△ 85.3	12.7
	静・豊田地区	103	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	○ 90.3	9.7
	鷲宮地区	207	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	△ 86.0	10.1
	桜田地区	199	0.5	0.5	1.0	2.5	0.0	△ 87.4	8.0
年齢	18～29 歳	160	1.3	0.0	1.3	4.4	3.1	△ 86.3	3.8
	30 歳代	207	1.0	0.0	0.5	4.3	2.4	84.5	7.2
	40 歳代	208	0.0	0.5	1.4	7.7	1.9	84.6	3.8
	50 歳代	310	0.0	0.6	3.2	4.2	2.6	83.5	5.8
	60 歳代	384	0.3	1.3	1.6	4.2	3.1	82.3	7.3
	70 歳代	213	0.0	3.3	1.4	3.8	1.9	● 68.5	21.1
	80 歳以上	57	1.8	1.8	1.8	7.0	1.8	★ 56.1	29.8

②利用目的

市内循環バス（久喜区域）を利用している人の利用目的は、「余暇・レジャー」（28.6%）、「買い物」（28.0%）、「公共施設（市役所・公民館等）の利用等」（24.2%）、「通勤・通学」（22.4%）の順で多くなっている。

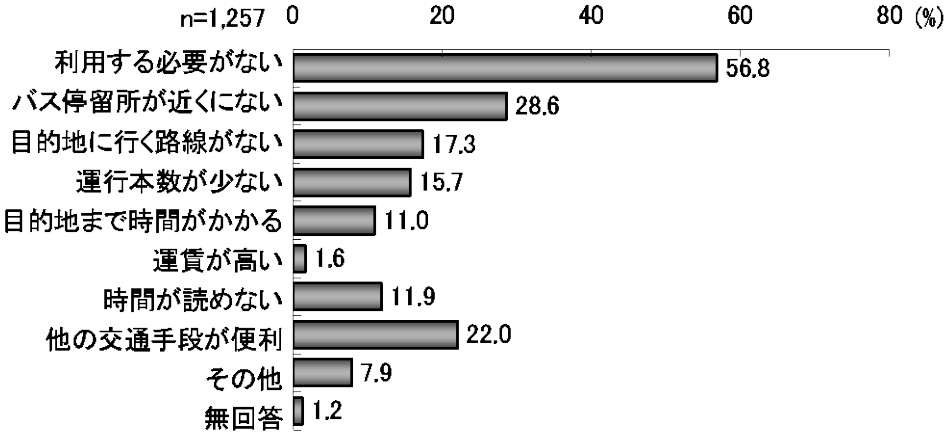
②【①で 1～5 とお答えいただいた方におたずねします。】
主にどのようなときに利用していますか。あてはまるものすべてに○印を付けてください。



③利用しない理由

市内循環バス（久喜区域）を利用しない理由は、「利用する必要がない」（56.8%）が最も多く、半数を超えているが、「バス停留所が近くにない」（28.6%）とする人も３割弱みられる。

③【①で「6.利用したことがない」とお答えいただいた方におたずねします。】
利用しない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○印を付けてください。



≪居住地区、年齢別　利用しない理由≫

居住地区別にみると、「バス停留所が近くにない」は、静・豊田地区で５割強と多い。また、「目的地に行く路線がない」との回答も２割強とやや多くなっている。

年齢別では、18～29 歳では「利用する必要がない」との回答が６割強とやや多くなっている。

(%)

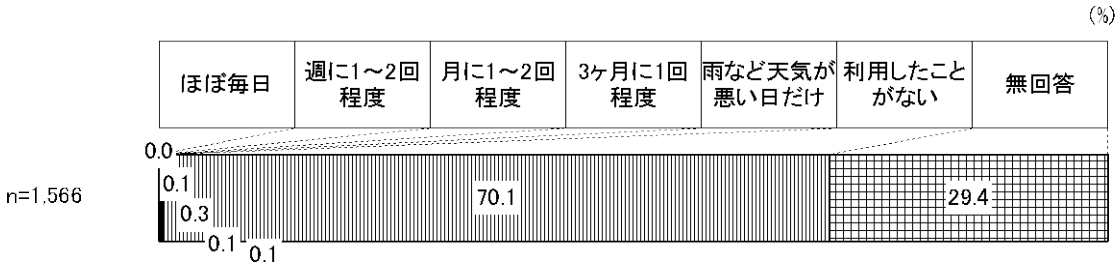
		n	利用する必要がない	バス停留所が近くにない	目的地に行く路線がない	運行本数が少ない	目的地まで時間がかかる	運賃が高い	時間が読めない	他の交通手段が便利	その他	無回答
全体		1,257	56.8	28.6	17.3	15.7	11.0	1.6	11.9	22.0	7.9	1.2
居住地区	本町地区	95	61.1	▼ 18.9	14.7	○ 28.4	△ 16.8	0.0	△ 20.0	18.9	1.1	0.0
	中央・南地区	58	△ 63.8	● 15.5	▼ 10.3	12.1	6.9	1.7	13.8	19.0	5.2	0.0
	東地区	83	61.4	★ 13.3	15.7	△ 22.9	14.5	2.4	10.8	○ 34.9	7.2	0.0
	太田地区	201	53.7	25.4	16.4	△ 22.9	15.9	1.0	15.4	26.9	10.0	0.5
	江面地区	49	▼ 46.9	30.6	18.4	○ 26.5	☆ 30.6	0.0	○ 26.5	26.5	8.2	0.0
	清久地区	34	★ 38.2	★ 8.8	17.6	☆ 38.2	☆ 47.1	2.9	▼ 5.9	☆ 50.0	0.0	2.9
	菖蒲・三箇地区	107	● 45.8	△ 38.3	15.9	▼ 10.3	6.5	1.9	10.3	△ 27.1	6.5	4.7
	小林・栢間地区	48	▼ 47.9	31.3	16.7	▼ 6.3	6.3	0.0	8.3	▼ 14.6	6.3	2.1
	栗橋・伊坂地区	128	△ 62.5	24.2	20.3	▼ 9.4	6.3	4.7	7.8	19.5	10.9	0.8
	静・豊田地区	93	● 43.0	☆ 51.6	△ 23.7	▼ 6.5	▼ 2.2	0.0	▼ 3.2	▼ 12.9	15.1	2.2
	鷲宮地区	178	△ 64.6	△ 35.4	16.3	▼ 10.7	6.2	2.2	11.2	▼ 16.9	6.2	1.7
	桜田地区	174	△ 64.9	30.5	17.8	11.5	6.9	1.1	10.3	17.8	8.6	0.6
年齢	18～29 歳	138	△ 65.2	32.6	15.9	17.4	10.9	3.6	13.8	24.6	5.8	0.7
	30 歳代	175	61.1	33.1	15.4	16.6	8.6	2.3	11.4	24.6	7.4	0.6
	40 歳代	176	59.7	△ 36.4	17.6	15.9	11.4	2.3	13.6	19.9	6.3	0.6
	50 歳代	259	54.8	30.5	15.4	16.6	10.4	0.0	10.8	23.6	6.9	0.0
	60 歳代	316	58.2	▼ 21.8	18.0	15.8	9.5	1.3	10.8	19.0	8.2	1.3
	70 歳代	146	● 46.6	▼ 19.2	18.5	11.6	15.8	1.4	12.3	24.0	12.3	3.4
	80 歳以上	32	★ 25.0	△ 34.4	☆ 34.4	15.6	△ 18.8	0.0	▼ 6.3	21.9	15.6	6.3

（３）福祉バス（鷲宮区域）について

①利用経験

福祉バス（鷲宮区域）を「利用したことがない」（70.1%）とする人は７割と多い。利用していると回答した人は８人とごく僅かである。

（3）福祉バス（鷲宮区域）について
① 利用したことがありますか。あてはまるものを1つ選んで〇印を付けてください。



②利用目的

福祉バス（鷲宮区域）を利用したことがあると回答した８人の利用目的は、「公共施設（市役所・公民館等）の利用等」（3 人）、「余暇・レジャー」（2 人）、「通勤・通学」、「習い事・サークル活動」がそれぞれ１人となっている。

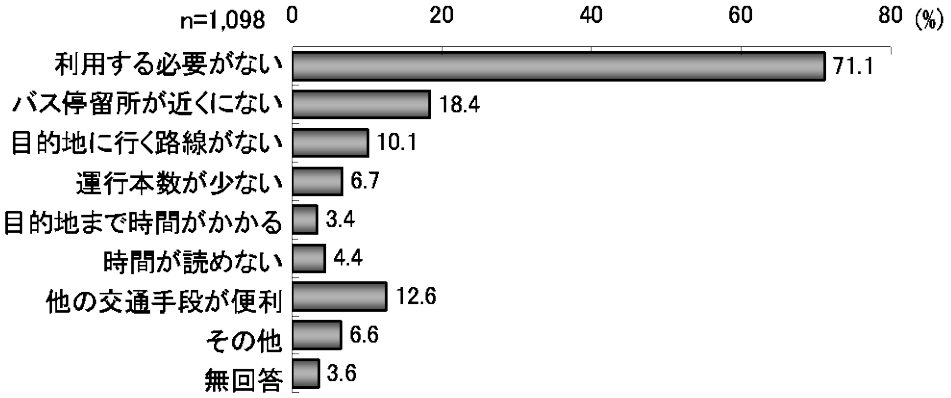
②【①で 1～5 とお答えいただいた方におたずねします。】
主にどのようなときに利用していますか。あてはまるものすべてに〇印を付けてください。

n	通勤・通学	買い物	通院	公共施設（市役所・公民館等）の利用等	習い事・サークル活動	余暇・レジャー	その他	無回答
8 人	1 人	0 人	0 人	3 人	1 人	2 人	0 人	1 人

③利用しない理由

福祉バス（鷲宮区域）を利用しない理由は、「利用する必要がない」（71.1%）が７割と多数を占めている。「バス停留所が近くにない」（18.4%）とする人は２割弱となっている。

③【①で「6.利用したことがない」とお答えいただいた方におたずねします。】
利用しない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○印を付けてください。



≪居住地区、年齢別　利用しない理由≫

居住地区別にみると、「バス停留所が近くにない」、「目的地に行く路線がない」は静・豊田地区で多くなっている。

年齢別では、18～29 歳は「利用する必要がない」が８割強と多いが、40 歳代では「バス停留所が近くにない」、70 歳以上では「目的地に行く路線がない」をあげる人が多くなっている。

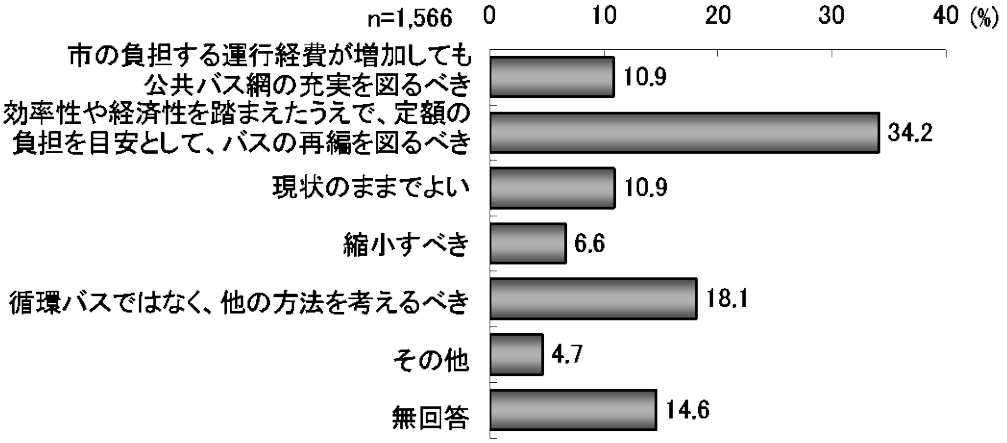
(%)

		n	利用する必要がない	バス停留所が近くにない	目的地に行く路線がない	運行本数が少ない	目的地まで時間がかかる	時間が読めない	他の交通手段が便利	その他	無回答
全体		1,098	71.1	18.4	10.1	6.7	3.4	4.4	12.6	6.6	3.6
居住地区	本町地区	77	○ 83.1	▼ 9.1	▼ 2.6	5.2	1.3	1.3	▼ 3.9	5.2	3.9
	中央・南地区	45	△ 77.8	15.6	8.9	2.2	2.2	6.7	11.1	2.2	2.2
	東地区	69	75.4	▼ 13.0	7.2	▼ 1.4	1.4	1.4	△ 18.8	5.8	7.2
	太田地区	140	72.9	14.3	10.0	4.3	3.6	2.9	10.7	2.9	6.4
	江面地区	29	72.4	13.8	▼ 3.4	3.4	0.0	0.0	10.3	6.9	10.3
	清久地区	21	71.4	14.3	● 0.0	4.8	4.8	0.0	14.3	0.0	9.5
	菖蒲・三箇地区	86	● 57.0	19.8	7.0	2.3	5.8	5.8	12.8	14.0	8.1
	小林・栢間地区	34	67.6	△ 23.5	11.8	2.9	0.0	0.0	▼ 5.9	2.9	0.0
	栗橋・伊坂地区	119	71.4	19.3	13.4	6.7	4.2	5.0	12.6	11.8	1.7
	静・豊田地区	82	★ 52.4	☆ 43.9	△ 17.1	4.9	1.2	2.4	12.2	14.6	2.4
	鷲宮地区	199	75.4	17.1	8.5	7.5	3.0	5.5	15.6	5.5	1.0
	桜田地区	191	71.7	17.8	13.6	△ 15.7	5.8	7.3	14.1	3.7	1.6
年齢	18～29 歳	145	○ 81.4	20.7	7.6	9.0	3.4	4.8	13.1	8.3	0.0
	30 歳代	171	75.4	19.9	8.8	7.0	2.9	4.1	14.0	5.3	1.8
	40 歳代	169	69.8	△ 25.4	11.2	5.9	4.7	3.6	11.2	4.7	3.6
	50 歳代	216	71.3	20.4	9.7	6.0	3.7	3.2	14.8	4.2	3.7
	60 歳代	250	69.6	▼ 12.4	8.0	5.6	2.0	4.4	10.0	7.6	5.2
	70 歳代	111	▼ 61.3	▼ 11.7	△ 16.2	8.1	4.5	6.3	11.7	11.7	5.4
	80 歳以上	22	★ 36.4	22.7	☆ 27.3	9.1	4.5	9.1	△ 18.2	4.5	13.6

12-4. 市内循環バスの運営について

市内循環バスの運営について、「効率性や経済性を踏まえたうえで、定額の負担を目安として、バスの再編を図るべき」（34.2%）との回答が最も多く、３人に１人強の割合となっている。「循環バスではなく、他の方法を考えるべき」（18.1%）との回答は２割弱となっており、「市の負担する運行経費が増加しても公共バス網の充実を図るべき」や「現状のままでよい」とする人はそれぞれ１割となっている。

問 30　市が運営している市内循環バスの運行には、年間約 5,500 万円の運行経費が必要となります。
このことについて、あなたのお考えに近いものを、次の中から1つ選んで○印をつけてください。



≪居住地区、年齢別　市内循環バスの運営について≫

居住地区別にみると、「循環バスではなく、他の方法を考えるべき」は、菖蒲・三箇地区で３割弱と多い。

年齢別では、18～30 歳代では「現状のままでよい」との回答がやや多く、６人に１人の割合となっている。40 歳代では「効率性や経済性を踏まえたうえで、定額の負担を目安として、バスの再編を図るべき」をあげる人が４割強と多い。

(%)

		n	市の負担する運行経費が増加しても公共バス網の充実を図るべき	効率性や経済性を踏まえたうえで、定額の負担を目安として、バスの再編を図るべき	現状のままでよい	縮小すべき	循環バスではなく、他の方法を考えるべき	その他	無回答
全体		1,566	10.9	34.2	10.9	6.6	18.1	4.7	14.6
居住地区	本町地区	136	5.9	31.6	15.4	6.6	18.4	6.6	15.4
	中央・南地区	69	△ 20.3	31.9	8.7	7.2	▼ 11.6	1.4	18.8
	東地区	117	10.3	35.9	14.5	6.8	▼ 11.1	6.8	14.5
	太田地区	253	10.3	34.4	12.3	6.3	19.0	3.2	14.6
	江面地区	64	▼ 4.7	32.8	12.5	7.8	18.8	4.7	18.8
	清久地区	43	11.6	34.9	11.6	4.7	16.3	4.7	16.3
	菖蒲・三箇地区	147	7.5	▼ 28.6	6.8	5.4	○ 28.6	2.0	21.1
	小林・栢間地区	62	▼ 3.2	32.3	8.1	9.7	22.6	3.2	21.0
	栗橋・伊坂地区	150	9.3	36.0	11.3	5.3	18.7	6.7	12.7
	静・豊田地区	103	14.6	32.0	▼ 4.9	5.8	16.5	11.7	14.6
	鷲宮地区	207	15.5	37.7	12.1	7.7	16.4	2.4	8.2
	桜田地区	199	13.6	38.2	10.1	6.0	18.1	5.0	9.0
年齢	18～29 歳	160	10.6	36.9	△ 17.5	10.6	▼ 13.1	4.4	6.9
	30 歳代	207	13.5	35.3	△ 16.9	10.1	14.0	5.8	4.3
	40 歳代	208	12.0	△ 43.3	9.6	3.8	19.7	5.3	6.3
	50 歳代	310	9.7	38.1	9.7	4.8	21.3	4.8	11.6
	60 歳代	384	10.9	33.6	8.9	6.3	18.8	5.2	16.4
	70 歳代	213	9.9	● 23.5	7.0	5.6	20.7	3.3	30.0
	80 歳以上	57	8.8	● 22.8	7.0	3.5	15.8	1.8	40.4